

# 要 望 書

令和9年度国の施策・予算について



音戸の瀬戸公園の再整備 イメージパース



呉市・広島大学Town & Gown Office開所記念式典

## 広島県 呉市



# 国への要望書

本市の行政施策の推進につきましては、かねてより格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和9年度予算編成及び施策の決定に当たり、次の主要事業に対し、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月

呉市長 新原 芳明

呉市議会議長 中田 光政



## 目 次

### 【産業関係】

- 1 多機能な複合防衛拠点の早期整備について ..... 1  
【総務省，財務省，防衛省】
- 2 呉市総合スポーツセンターの企業用地への転換及び  
スポーツ施設移転・再配置に係る支援 ..... 3  
【内閣府，財務省，文部科学省，経済産業省，国土交通省，防衛省】
- 3 呉市・広島大学による海洋・海事の拠点形成  
(教育・研究・社会連携拠点の整備等) ..... 5  
【内閣府，外務省，財務省，文部科学省，経済産業省，国土交通省】
- 4 音戸の瀬戸公園のブランド価値向上に向けた  
官民連携による再整備の推進 ..... 7  
【内閣府，財務省，国土交通省，防衛省】

### 【防災・減災，国土強<sup>じん</sup>靱化関係①】

- 5 呉駅周辺地域総合開発の推進 ..... 9  
【財務省，国土交通省】
- 6 広島呉道路（クレアライン）4車線化の整備促進 .....11  
【財務省，国土交通省】
- 7 東広島・呉自動車道の更なる機能強化・強靱化対策の推進 .....13  
【財務省，国土交通省】
- 8 主要地方道呉平谷線・都市計画道路焼山押込線の早期整備 .....15  
【財務省，国土交通省】
- 9 主要地方道呉環状線（苗代～郷原）バイパスの早期整備等 .....17  
【内閣府，財務省，経済産業省，国土交通省】
- 10 一般国道185号の早期事業化等 .....19  
【財務省，国土交通省】
- 11 県が管理する国道・県道の早期整備 .....21  
【財務省，国土交通省】

12	市道整備の推進	23
		【財務省，国土交通省】
13	砂防・急傾斜地崩壊対策事業の加速と 適切な維持管理等による事前防災対策の推進	25
		【財務省，国土交通省】
14	流域治水プロジェクトに基づくハード・ソフト 一体となった治水対策の推進	27
		【財務省，国土交通省】
15	社会資本の適切な維持管理の推進	29
		【財務省，農林水産省，国土交通省】
16	呉港の事業の推進	31
		【財務省，国土交通省】
17	県管理地方港湾の整備促進	33
		【財務省，国土交通省】
18	海岸事業（高潮対策）の早期完成	35
		【財務省，農林水産省，国土交通省】
19	住宅・建築物の耐震化の推進	37
		【財務省，国土交通省】
20	危険な空き家・危険な擁壁等への対応	39
		【財務省，国土交通省】

### 【生活環境関係】

21	生活交通の維持・確保	41
		【財務省，国土交通省】
22	J R 呉線の機能強化等	43
		【国土交通省】
23	有機フッ素化合物に関する問題の早期解決	45
		【環境省，財務省】

## 【農林水産関係】

- 24 持続的なかき養殖の実現に向けた取組の推進 ……………47  
【農林水産省】

## 【教育関係】

- 25 学校給食の完全無償化に向けた財源確保について ……………49  
【財務省，文部科学省】

## 【福祉関係】

- 26 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用 ……………51  
【財務省，厚生労働省】

## 【防災・減災，国土強靱化関係②】

- 27 国土強靱化実施中期計画を踏まえた  
国土強靱化に必要な予算・財源の別枠確保について ……………53  
【総務省，財務省，農林水産省，国土交通省】

# 1 多機能な複合防衛拠点の早期整備について

総務省，財務省，防衛省

## 提案の要旨

日本製鉄（株）瀬戸内製鉄所呉地区跡地における多機能な複合防衛拠点の整備について，引き続き本市の意見に御配慮いただきながら，早期に整備が進められるようお願いいたします。

## 現状及び課題

呉市は，終戦による海軍の解体とともに人口も大きく減少しましたが，「旧軍港市転換法」により海軍工廠跡地に，現在の日本製鉄（株）瀬戸内製鉄所呉地区（以下「瀬戸内製鉄所呉地区」といいます。）を始めとする鉄鋼や造船等の企業が進出し，瀬戸内有数の臨海工業地帯として発展してきました。

こうした中，令和2年2月7日に日本製鉄（株）から瀬戸内製鉄所呉地区の全設備の休止を含む生産設備構造対策の発表があり，令和5年9月末に全設備が休止となりました。

瀬戸内製鉄所呉地区は，地域経済を支えてきた，呉市にとって重要な存在であることから，この設備の休止が地域全体に与える影響は非常に大きいものと考えており，これまで，関係機関が一丸となって雇用や関係企業の事業継続等に対応してきました。

跡地活用については，令和6年3月4日に防衛省から瀬戸内製鉄所呉地区跡地の一括購入及び多機能な複合防衛拠点の整備並びに日本製鉄（株），防衛省，広島県及び呉市による4者協議について申入れがあり，同月28日から協議を開始しました。

取組状況等に記載のとおり，呉市からの要望書提出，防衛省からのゾーニング案の中間報告などを経て，令和7年3月31日に，防衛省からゾーニングの報告がありました。

この報告を受けて，同年4月24日に，呉市主催で，近隣の警固屋・宮原地区住民及び呉市民を対象とした住民説明会を開催しました。

呉市は，海上自衛隊の発足以来，我が国の独立と安全のために大きな役割を果たしていることを誇りにし，海上自衛隊と共に歩んでまいりました。一方，我が国を取り巻く安全保障環境は戦後，最も厳しいものとなっており，戦争を起こさせないために抑止力を高めることは，我が国のみならず，自由と法治主義を共通の価値とする多くの友好国にとっても，喫緊の課題となっています。

呉市は，国民の命と平和な暮らしを守るための国の考え方にに基づき，引き続き市民の理解を得ながら，基地施設の安定した活用や自衛隊員やその家族を含めた市民が安心して暮らせるまちづくりの取組を進めているところです。

こうした状況を踏まえ，令和7年5月16日の議会協議会において，多機能な複合防衛拠点の早期整備について，国に要望することを決定しました。

なお，令和7年7月31日には，防衛省と日本製鉄（株）は，日本製鉄（株）瀬戸内製鉄所呉地区跡地の売買契約締結に向けた基本的事項の合意に至りました。

## 取組状況等

令和2. 2. 7	日本製鉄（株）が，瀬戸内製鉄所呉地区の高炉2基を令和3年9月末を目途に休止，全設備は令和5年9月末を目途に休止し，閉鎖すると発表
令和5. 9. 末	瀬戸内製鉄所呉地区の全設備が休止
令和6. 3. 4	防衛省から瀬戸内製鉄所呉地区跡地の一括購入等について申入れ
令和6. 7. 3	多機能な複合防衛拠点の整備検討に当たっての呉市からの要望書を提出
令和6. 9. 6	防衛省から多機能な複合防衛拠点の整備に係るゾーニング案の中間報告
令和7. 3. 31	防衛省から多機能な複合防衛拠点の整備に係るゾーニングの報告
令和7. 4. 24	多機能な複合防衛拠点の整備に係る住民説明会の開催
令和7. 5. 16	多機能な複合防衛拠点の早期整備を国に要望することを決定
令和7. 5. 23	多機能な複合防衛拠点の早期整備に係る呉市からの要望書を提出
令和7. 9. 19	多機能な複合防衛拠点の更なる早期整備に係る呉市からの要望書を提出
令和8. 5.	多機能な複合防衛拠点の屋外運動場等の具体的な要望や道路整備への支援等について呉市からの要望書を提出（予定）

## 提案の内容

### ○ 多機能な複合防衛拠点の早期整備

瀬戸内製鉄所呉地区跡地における多機能な複合防衛拠点の整備については、できる限り早期に実施していただきますようお願いします。

その際には、令和7年3月31日付防地西（事）第165号「防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備検討に当たっての要望について（回答）」でお示しいただいたとおり、進めていただきますようお願いします。

### ○ 産業機能の早期利活用及び経済波及効果の高い産業の誘致・整備

装備品などの維持整備・製造基盤の機能については、瀬戸内製鉄所呉地区の全設備休止が地域経済に与える影響を最小限にとどめるためにも、全体整備の中でもできるだけ早期の利活用を開始していただくとともに、経済波及効果及び雇用創出効果の高い産業並びに呉市の多くの中小企業に好影響が及ぶような裾野の広い産業を誘致及び整備するようお願いします。

また、新たな施設整備等の発注に当たっては、地元事業者を優先して採用するよう、あわせて、地元事業者が入札に参加できるよう配慮をお願いします。

### ○ 市民も活用できる運動場エリア（屋外運動場・屋内運動施設等）の早期整備

運動場エリア（屋外運動場・屋内運動施設等）の整備については、本市におけるスポーツ施設の再配置における課題や地域住民の要望等を勘案していただき、特に屋外運動場については全体整備の中でも早期の整備をお願いするとともに、市民がいつでも自由に利用できるなど、より利便性の高い施設となるようお願いします。

### ○ 道路環境の変化に備えた道路整備への支援

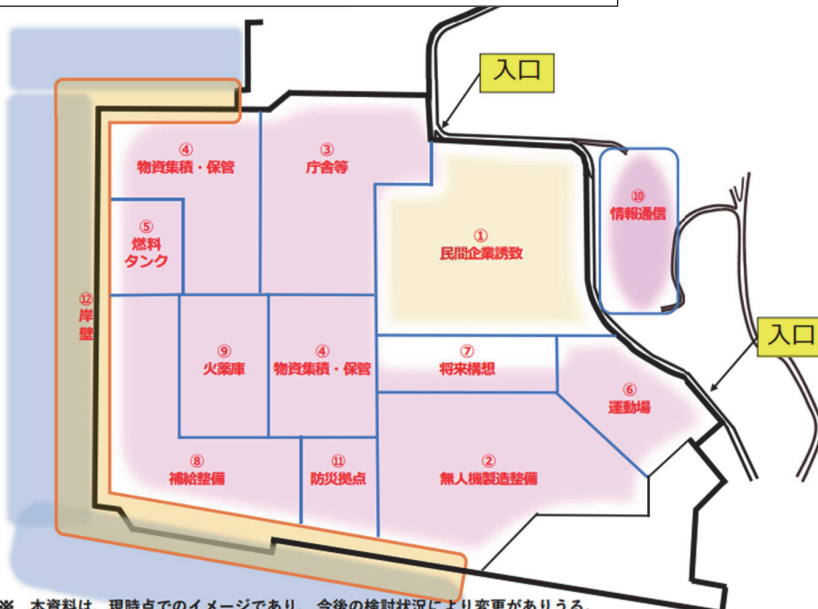
多機能な複合防衛拠点の整備に伴い、懸念される道路環境の変化に備え、道路整備への支援についてお願いします。

### ○ 基地交付金の対象資産の拡大

先述のとおり、呉市は国の防衛戦略について市民の理解を得ながら、基地施設の安定した活用や自衛隊員やその家族を含めた市民が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。しかしながら、呉市に存在する防衛施設は、中心市街地に多く存在し、その結果、主要な港湾区域を防衛施設が占有している状況にあり、市のまちづくり計画に対して大きな影響を与えているにも関わらず、対象資産となっていません。

については、自衛隊が使用する港湾施設を基地交付金の対象とするようお願いします。

### ゾーニングについて（令和7年3月31日 防衛省より提示）



※ 本資料は、現時点でのイメージであり、今後の検討状況により変更がありうる。

## 2 呉市総合スポーツセンターの企業用地への転換及びスポーツ施設移転・再配置に係る支援

内閣府，財務省，文部科学省，経済産業省，国土交通省，防衛省

### 提案の要旨

呉市総合スポーツセンターを企業用地に転換するに当たり必要となるスポーツ施設の移転・再配置と立地企業への支援をお願いします。

### 現状及び課題

本市においては、これまでも製造品の出荷や設備投資による税収の増、若者などの働く場の創出と定住に向け、産業団地を造成し、積極的な企業誘致・留置活動を推進してきました。

こうした中、令和5年9月末に、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の全設備が休止するなど、本市経済は大変厳しい状況にあることから、市内に立地したいという企業の需要に適時・適切に応え、企業活動による税収の増や若者の雇用創出・定住促進を図り、本市経済の更なる発展につなげていくことが喫緊の課題となっております。

一方、平成元年に民間の厚生施設として整備された呉市総合スポーツセンターは、平成17年に本市が取得し、これまで、本市の拠点スポーツ施設としての役割を担ってきましたが、開所から30年以上が経過し、施設全体が老朽化しており、今後、施設更新などを実施する必要があるほか、公共交通機関で行くことができないなど、アクセス面で課題があります。

この呉市総合スポーツセンターは、東広島呉道路に近接しているとともに、四つの工業団地が集積する地域に位置している好立地にあること、また比較的容易に産業団地に転換できることなどから、各スポーツ施設を、より利便性が高く充実した機能となるよう移転・再配置をするとともに、当該敷地は産業団地として売却することとし、令和5年11月13日に(株)ディスコと売買契約を締結しました。その後、令和8年2月から工場等の建設が開始されています。

このため、スポーツ施設の移転・再配置に当たっては、各スポーツ施設の利用できない期間ができるだけ生じないように、移転・再配置を円滑かつ早期に進める必要があり、呉市総合スポーツセンターの利用期限等も踏まえながら、順次整備を進めています。

また、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の全設備休止の影響を最小限にとどめ、市内生産額の増加や新たな雇用創出、ひいては地域経済の更なる発展を図るため、道路を始めとしたインフラ整備により、(株)ディスコの円滑な工場等の建設と企業活動を全力で支援していく必要があります。

### 取組状況等

令和2.	2.	7	日本製鉄(株)が、旧日鉄日新製鋼(株)呉製鉄所(現:日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区)の高炉2基を令和3年9月末を目途に休止、全設備は令和5年9月末を目途に休止し、閉鎖すると発表 ※令和3.9.29高炉吹き止め、令和5.5.31全設備休止
令和4.	8.	1	呉市議会議会協議会において、呉市総合スポーツセンターの施設移転・再配置及び産業団地への転換について報告
令和4.	8.	25	呉市議会産業建設委員会において、呉市総合スポーツセンター売却優先交渉権者決定に係る公募型プロポーザルの実施について報告
令和4.	10.	17	公募型プロポーザル募集開始
令和5.	1.	27	(株)ディスコを売却優先交渉権者として決定
令和5.	3.	29	同社と呉市総合スポーツセンターに係る立地協定締結
令和5.	11.	13	同社と呉市総合スポーツセンターの売買契約を締結 (呉市総合スポーツセンターの財産処分議案が呉市議会で可決)
令和7.	4.	1	呉市総合スポーツセンターの土地・建物を同社に所有権移転
令和8.	2.	1	(株)ディスコ新工場 第1期工事開始

## 提案の内容

### ○ 呉市総合スポーツセンターの移転・再配置に係る財政面での支援

呉市総合スポーツセンターの各スポーツ施設については、県民・市民にとって利便性が高く充実した機能を有する施設となるよう移転・再配置を進めていますが、現時点で総事業費は少なくとも約96億円と見込んでおり、財源の確保が課題となっています。ついては、移転・再配置を推進するためにも、財政的支援をお願いします。

### ○ 呉市総合スポーツセンターの円滑な移転・再配置への支援

呉市総合スポーツセンターの陸上競技場については、ソフトボールが最も盛んに行われている「入船山公園多目的広場」に移転することとしています。当該広場の代替地が確保できていません。こうした中、現在、防衛省が進められている日鉄跡地への「多機能な複合防衛拠点」を整備するためのゾーニングで、「市民も利用できるソフトボールなどが可能な屋外運動施設」の整備を検討することが示されたことから、この屋外運動施設を当該広場の代替地として活用させていただきたく考えています。

ついては、本市におけるスポーツ施設の再配置における課題や地域住民の要望等を勘案していただき、特に屋外運動施設については全体整備の中でも早期の整備をお願いするとともに、市民がいつでも自由に利用できるなど、より利便性の高い施設となるよう、お願いします。

### ○ 地域経済の活性化と雇用の創出につながる内陸部産業団地に立地する企業への支援

(株)ディスコは、半導体切断装置の製造で世界トップシェアを誇る、国内有数の企業で、その立地による効果は、年間出荷額約1,500億円、市税収入約6億円、雇用創出は新工場の整備に係る第1期工事だけで最大約1,300人と見込んでいます。また、従業員の雇用による定住・移住の促進、その従業員や家族による市内消費の拡大、更には世界最先端の働く場の創出など、様々な効果があると認識しています。半導体関連産業は、日本成長戦略会議において17の戦略分野の一つとして示された重要な戦略分野であり、(株)ディスコの当該敷地への立地は、呉市のみならず、広島県更には国の産業振興にも大きく寄与するものです。

こうしたことから、(株)ディスコに係る次の支援について、特段の配慮をお願いします。

- ・中国地域戦略産業クラスター計画の支援対象として、半導体関連産業、特に(株)ディスコの位置づけ
- ・半導体関連産業に係る広島県が行う道路を始めとしたインフラ整備と、市が行う上下水道を始めとしたインフラ整備への大規模かつ柔軟な支援
- ・(株)ディスコが、経済安全保障推進法に基づく半導体サプライチェーンの強化支援制度の申請をした際の同社への適用

#### 【再配置先の概要】

施設名	再配置先	完成予定時期	主な仕様(予定)
陸上競技場	入船山公園多目的広場	R11.9頃	3種公認、400m×8レーン、約1,000席
多目的グラウンド	広多賀谷緑地	R10.3頃	サッカーコート人工芝3面
野球場			両翼98m、中堅122m
テニスコート	呉昭和高校跡地	R11.10頃	砂入り人工芝12面
弓道場			近的5射場、遠的6射場
入船山公園多目的広場(ソフトボールなど)	日鉄跡地(整備されるまでは一時的な代替地として民有地を活用)	未定	防衛省において検討中

#### 【候補地の位置図】



### 3 呉市・広島大学による海洋・海事の拠点形成 (教育・研究・社会連携拠点の整備等)

内閣府，外務省，財務省，文部科学省，経済産業省，国土交通省

#### 提案の要旨

呉市・広島大学Town&Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援をお願いします。

#### 現状及び課題

四方を海に囲まれ、海洋国家としての歴史を有する日本は、海洋に関するあらゆる分野に関係性を有し、海は極めて重要な役割を果たしています。

呉市は、瀬戸内海のほぼ中央部に位置し、海洋・海事に関わるものづくりや海運業の伝統とともに、造船、船用工業等の瀬戸内海事クラスターが形成されています。

また、海上保安大学校や広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」といいます。）の練習船基地など教育・研究機関の集積もあり、海とともに発展する海洋文化都市として、大きなポテンシャルを有しています。

一方で、大手企業事業所の休止や、人口の減少等により、呉市の経済は大きな影響を受けています。また、呉市の産業を支える造船、船用工業、海運業等の海洋・海事関連産業においては、国際的に激化する競争への対応と、人材の確保という点が課題として挙げられています。

こうした中で、呉市と広島大学は、自治体と大学が一体となって、地域課題に取り組むことで、ともに発展を続ける仕組みであるTown&Gown構想を推進し、海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて取り組んでいくこととしました。

#### 取組状況等

令和5年	7月	呉市，広島大学，海上保安大学校及び笹川平和財団の4者で「呉市，広島大学，海上保安大学校及び笹川平和財団の呉市・広島大学Town&Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」締結
令和5年	7月	広島大学が世界海事大学（WMU）と連携に係る意向書を締結
令和6年	1月	呉市・広島大学Town&Gown構想 海洋文化都市くれ推進協議会設立 【参画団体 83団体（令和8年3月末現在）】 国（国土交通省中国地方整備局，中国運輸局），広島県，教育・研究機関，関係団体・企業等
令和6年	3月	広島大学が海上保安大学校及び全国5つの商船系高等専門学校と包括協定を締結
令和7年	4月	呉市・広島大学Town&Gown Officeを呉市役所に設置
令和7年	5月	国会議員，財務省，文部科学省及び国土交通省に要望
令和7年	10月	広島大学海洋・海事未来研究所を呉市に設置
令和7年	12月	呉市が海洋文化都市くれ推進基金を設置
令和8年	2月	広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」の本格型に採択

その他，アジア太平洋船舶海洋構造工学会議（TEAM2024），世界船舶海洋工学フォーラム（World NAOE Forum）及び日本船舶海洋工学会の海洋教育フォーラムを呉市内で開催  
また，令和8年に（一社）日本リモートセンシング学会秋季学術講演会，令和9年に国際海洋リモートセンシング会議（PORSEC）が呉市で開催予定

## 提案の内容

### ○ 海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けた支援

呉市・広島大学Town&Gown構想の取組は、令和5年4月28日に閣議決定された「第4期海洋基本計画」に掲げられた「総合的な海洋の安全保障」、「持続可能な海洋の構築」や、主要施策として掲げられている「海洋の産業利用の促進」、「科学的知見の充実」、「海洋におけるDXの推進」、「国際連携・国際協力」及び「海洋人材の育成・確保と国民の理解の増進」とも合致するものと考えています。

また、令和7年12月、国は、2035年に必要な我が国の船舶建造能力確保を目指す「造船業再生ロードマップ」を策定、その中で、造船人材の確保・育成のため、大学、産業、地域等の連携による高度人材の育成に取り組むこととしています。

こうした国の政策とも合致する、呉市、広島大学、海上保安大学校及び笹川平和財団が進めるTown&Gown構想による海洋・海事に関する国際的な教育・研究・社会連携拠点の形成に向けて、格別の支援をお願いします。

#### 【呉市・広島大学Town&Gown構想の取組項目】

- ・アジアにおける海洋・海事の国際的教育・研究・社会連携の拠点形成
- ・海洋・海事関係の国際機関等との連携
- ・広島大学大学院の海洋・海事に係る学際的な学位プログラムの実施等による人材育成
- ・先進技術を活用した海洋・海事に関するデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ・瀬戸内海の自然環境を生かしたグリーントランスフォーメーション（GX）の推進
- ・新たな海洋・海事産業の創出に向けた関連企業等との連携
- ・その他、海洋・海事の国際的な拠点の形成に伴う連携・協力

### ○ 広島大学の海洋・海事に係る教育・研究・社会連携拠点施設の整備への支援

広島大学は、呉市において、令和7年10月の広島大学海洋・海事未来研究所の設置を始め、令和8年度には広島大学海洋リモートセンシング技術センター、令和9年度には大学院における海洋・海事学位プログラムの構築を検討するなど教育・研究拠点の整備を進めているほか、将来的には、海外からの多くの研究者や留学生などの受入れ等にも対応できる拠点施設の整備を検討しています。こうした知の集積は、呉市が海洋・海事の世界的な拠点として発展していく上で不可欠であることから、広島大学の海洋・海事に係る教育・研究・社会連携拠点施設の整備に対し、格別の支援をお願いします。

あわせて、学位プログラムの実施に伴う学生への奨学金の確保、更には、独立行政法人国際協力機構（JICA）が行う外国人留学生の受け入れに対して、格別の支援をお願いします。



呉市、広島大学、海上保安大学校及び  
笹川平和財団4者協定締結



学際的な学位プログラムの実施に伴う  
学生への奨学金制度の整備

## 4 音戸の瀬戸公園のブランド価値向上に向けた官民連携による再整備の推進

内閣府，財務省，国土交通省，防衛省

### 提案の要旨

官民連携により音戸の瀬戸公園のブランド価値を向上させ、国内外から多くの観光客が癒やしを求めて来訪し、従業員の雇用や地元への経済効果を波及させるとともに、市民が集い、親しむ交流の拠点となる公園の再整備に必要な支援をお願いします。

### 現状及び課題

呉市警固屋地区に昭和37年4月に開設された音戸の瀬戸公園は、18.7ヘクタールの広大な面積を有し、瀬戸内海と島々が織りなす景色の中で船舶が行き交う醍醐味あふれるロケーションや平清盛が切り開いたと伝わる音戸の瀬戸を一望できる立地環境にあるほか、春には公園内に植樹された桜やつつじが咲き誇り、市内外から多くの方が来訪する貴重な地域資源です。

こうした優れたポテンシャルを有する公園を活用し、地域の活性化と観光振興を図るため、令和7年4月に、公園内に外資系ラグジュアリーホテルと飲食施設の整備を提案する民間事業者と基本協定を締結し、呉市において公園全体の再整備を進めていくこととしています。

令和7年度は、国土交通省の「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」に採択していただき、導入機能や配置計画を取りまとめた整備計画を策定しました。今後は、令和11年度の供用を目指して、展望デッキ、空中回廊及び天候を気にせず子どもたちが遊べる機能や市民と国内外からの来園者が交流できるスペースを備えた交流拠点を始めとした施設整備のほか、園内の回遊性を高めるための次世代モビリティの導入検討等、公園のブランド価値向上に向けた取組を進めることとしています。

本事業により、国内外から多くの観光客が質の高い癒やしを求めて来訪し、従業員の雇用や市内への経済波及効果が期待されます。このため、必要な予算を確保し、民間事業者と連携しながら計画的に事業を推進していく必要があります。

### 取組状況等

#### ○ これまでの経緯

令和3年3月	公園内の温浴施設が閉店
令和5年11月 ～令和6年7月	公園活用策を募集するため、「サウンディング型市場調査」を実施
令和6年8月 ～令和6年10月	公園の活用事業者を選定するため、「公募型プロポーザル」を実施
令和6年11月	地域創生ソリューション株式会社を代表企業とする「CCKグループ」を優先交渉権者に選定
令和7年4月	CCKグループと基本協定を締結
令和8年3月	「音戸の瀬戸公園整備計画」を策定

#### ○ 「CCKグループ」構成企業

地域創生ソリューション株式会社，株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション  
株式会社広島銀行，ひろぎんエリアデザイン株式会社  
ファースト信託株式会社，Banyan Tree Japan (バンヤンツリージャパン) 有限会社

#### ○ 事業予定

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
呉市	整備計画策定 概略設計	実施設計	公園整備工事		段階的供用(予定)
		次世代モビリティの導入検討			
CCKグループ	企画設計	施設詳細設計 許認可手続	施設整備工事		施設開業(予定)

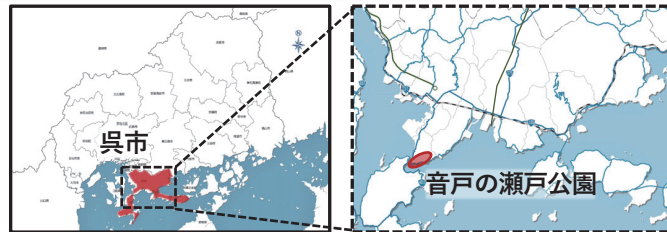
## 提案の内容

### ○ 音戸の瀬戸公園の再整備の推進に係る支援

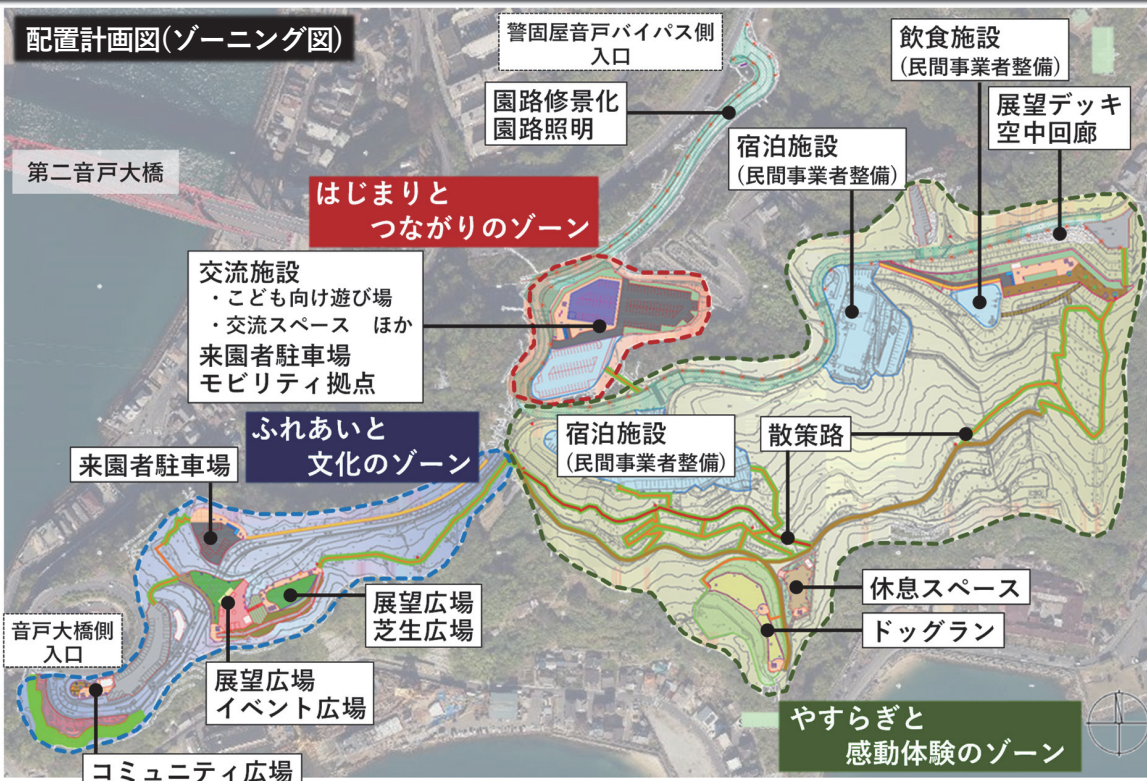
官民連携により音戸の瀬戸公園のブランド価値を向上させ、国内外から多くの観光客が癒やしを求めて来訪し、従業員の雇用や地元への経済効果を波及させるとともに、市民が集い、親しむ交流の拠点となる公園の再整備に必要な支援をお願いします。

### 音戸の瀬戸公園の概要

公園名	音戸の瀬戸公園
所在	呉市警固屋8丁目地内外
公園種別	都市公園（風致公園）
面積	18.7ha
設置日	昭和37年4月1日



### 公園再整備の内容



### 再整備後のイメージパース

#### ふれあいと文化のゾーン



#### はじまりとつながりのゾーン



#### やすらぎと感動体験のゾーン



## 5 呉駅周辺地域総合開発の推進

財務省，国土交通省

### 提案の要旨

次世代型総合交通拠点の実現に向けた国直轄事業による一般国道31号呉駅交通ターミナル整備の推進及び呉市が誘致を目指す複合施設の整備など関連事業の推進等をお願いします。

### 現状及び課題

呉駅周辺地域は、平成25年1月に閉店したそごう呉店跡地の再生や、老朽化に加え一般車が進入できない駅前広場の抜本的な機能強化、歩行者のバリアフリー動線の確保等が課題となっています。また、平成30年7月豪雨災害の際には、呉駅はJR代行バスの、呉中央棧橋は緊急輸送船の発着場所となるなど、当地域は代替交通の拠点としても大きな役割を担っています。

こうした課題や教訓を踏まえ、呉市の玄関口としてふさわしい駅周辺整備を推進するため、平成30年5月に都市交通や再開発の専門家から成る呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会を設置し、平成31年3月に「呉駅は鉄道駅だけでなく、バスや港の総合交通拠点に、そしてまちづくりの核にしていくこと」等の提言を頂きました。

この懇談会からの提言を基に、令和元年7月に呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会を設置し、周辺地権者や交通事業者、国・県の関係部局等にも御参画いただきながら検討を重ね、令和2年4月に呉駅周辺地域総合開発基本計画を策定しました。

また、本総合開発の重要な要素である呉駅交通ターミナルの整備については、令和2年9月に国土交通省中国地方整備局広島国道事務所とともに国道31号等呉駅交通ターミナル整備事業計画検討会を設置し、事業計画の検討・策定を経て、令和3年4月から、国の直轄事業として一般国道31号呉駅交通ターミナル整備事業を事業化していただきました。

事業化後、呉市においては、そごう呉店跡地で後継建物の整備を行う民間の実施事業者を選定し、令和6年7月には既存建物の解体完了、翌8月には後継建物の整備に着手するとともに、国におかれても、令和7年6月に呉駅交通ターミナルの整備（1期工事）に着手していただくなど、相互に連携しながら、早期整備を目指して着実に事業を進めています。

本総合開発の第1期開発では、呉駅周辺地域全体を総合交通拠点として捉え、既存の駅前広場を1階は交通ターミナルに、2階はデッキ広場に再整備し、JR呉駅の橋上駅舎化を推進しながら、市全体の交通まちづくりの起点となる、次世代モビリティや防災拠点にも対応した機能整備を進めるとともに、官民連携により、これらと一体となる、生活に必要な都市機能等を備えた複合施設をそごう呉店跡地に整備することにより、Society 5.0の実現に向けた先駆的サービスが展開される次世代のまちなか居住エリアの創出を目指しています。

更に呉駅を起点とした周辺への回遊性向上に向けて、蔵本通り及び堺川沿いの中央公園一帯の公共空間を活用した、居心地良く歩きたくなるウォークアブルな空間づくりを目指すとともに、青山クラブ・桜松館、呉市入船山記念館及び呉市立美術館が位置する幸町地区の総合的な整備を進めていきます。

これらの実現のため、引き続き、国、広島県及び呉市並びに民間実施事業者その他関係機関等が緊密に連携しながら、早期整備に向け、管理運営手法の更なる具体化等を進めていく必要があります。

### 取組状況等

平成31年3月	「呉駅周辺地域総合開発に関する提言書」（呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会）
令和2年4月	「呉駅周辺地域総合開発基本計画」策定（呉市）
令和3年3月	「国道31号等呉駅交通ターミナル整備事業計画」策定（国土交通省・呉市）
令和3年4月	「一般国道31号 呉駅交通ターミナル整備事業」事業化（国土交通省）
令和4年11月	五洋建設㈱を代表者とするグループ「くれみらい」を実施事業者を選定（呉市）
令和5年4月	そごう呉店跡地に係る財産譲渡契約 発効（呉市・くれみらい特定目的会社）
令和5年6月	一般国道31号呉駅交通ターミナル整備設計委託契約（国・清水建設㈱）
令和5年10月	呉駅交通ターミナル一般車送迎場実施設計委託契約（呉市・清水建設㈱）
令和6年8月	そごう呉店跡地の既存建物の解体完了・後継建物の整備着手（くれみらい特定目的会社）
令和7年3月	一般国道31号呉駅交通ターミナル整備1期工事契約（国・清水建設㈱）
令和7年6月	一般国道31号呉駅交通ターミナル整備1期工事着手（国土交通省）

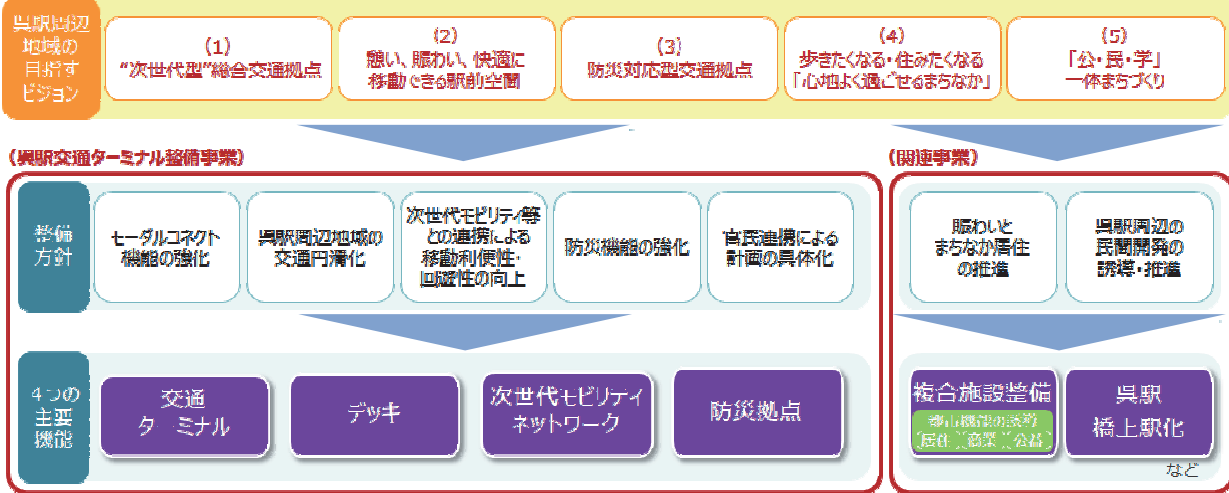
## 提案の内容

### ○ 次世代型総合交通拠点の実現に向けた一般国道31号呉駅交通ターミナル整備事業の推進等

道・港・駅・まちが一体となる次世代型総合交通拠点の実現に向けて、「一般国道31号呉駅交通ターミナル整備事業」と連携しながら、複合建物の早期完成及び周辺のにぎわい創出に向けた取組を進めています。

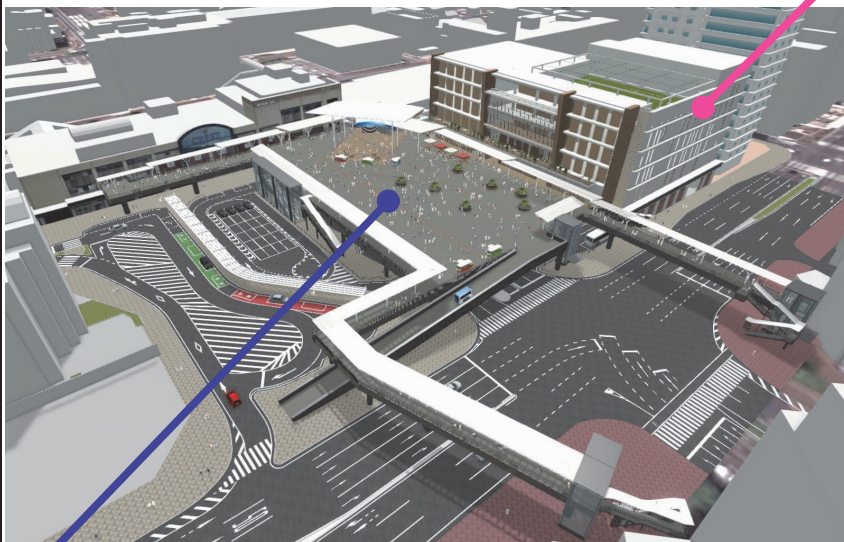
ついでには、国直轄事業による一般国道31号呉駅交通ターミナル整備の更なる推進とともに、呉市が実施する一般車送迎場整備及びそごう呉店跡地に整備する複合建物との連携、2階デッキでのにぎわい創出、これらを起点として中央公園等を活用した居心地良く歩きたくなるウォーカブルな空間づくりや幸町地区総合整備事業など関連事業の推進に必要な予算の確保をお願いします。

### 【呉駅周辺地域の目指すビジョン及び整備の方向性】（国道31号等 呉駅交通ターミナル整備事業計画 抜粋）



### 【呉駅交通ターミナル・そごう呉店跡地の整備後イメージ】

（国作成 イメージパース）



### 複合建物

- 民間主導で整備（商業等）
  - 一部の公益機能を国と呉市が整備
- 【国】ターミナル乗降場，待合  
【市】アーバンデザインセンター  
子育て支援センター



### 総合交通拠点

【一般国道31号  
呉駅交通ターミナル】

- 国主導で整備
- 一般車送迎場は呉市が整備

2階  
デッキ

1階  
ターミナル



【底】  
憩いと遮熱等対策



【大型サイネージ】  
多様な情報発信



【広大なデッキ】  
憩いと賑わいの広場



【スロープ】  
デッキへの車両乗り入れ

バス

タクシー

一般車

次世代モビリティ

## 6 広島呉道路（クレアライン）4車線化の整備促進

財務省，国土交通省

### 提案の要旨

広島呉道路（クレアライン）の早期の4車線化と利用しやすく沿線の交通環境にも配慮した料金体系の導入をお願いします。

### 現状及び課題

広島呉道路（クレアライン）は，広島高速道路と東広島・呉自動車道を連絡する高規格道路であり，平成8年に仁保IC～呉IC間が供用されたことで，広島市・呉市の連携が強化され，広域的な社会経済活動や観光周遊等を支え，地域の活性化に寄与してきました。

しかしながら，平成30年7月豪雨災害の際には，各地で交通網が寸断され，広島呉道路についても，84日間全面通行止めとなり，発災直後の救命救急活動や緊急物資の輸送等に支障を来すとともに，長期にわたり市民生活に多大な影響を及ぼしました。

こうしたことから，災害に強い道路ネットワークの構築を目的として，平成31年3月に国と西日本高速道路株式会社において広島呉道路の暫定2車線区間（坂北IC～呉IC）の4車線化が決定されました。

4車線化されることで，災害対応能力の向上はもとより，物流の効率化や交流人口の拡大等により広島広域都市圏の更なる発展にも極めて効果的であることから，呉市を始め周辺地域においても早期整備に対する期待が非常に大きくなっています。

広島呉道路の4車線化は，平成31年3月に完成した休山新道や令和4年3月に完成した東広島・呉自動車道阿賀IC立体化等の幹線道路の整備とあいまって，呉市を中心とした地域の交通状況を劇的に改善するものですが，こうした効果の最大化を図るために，令和元年度から，国土交通省において，呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの機能強化等のための調査が進められています。

また，令和3年3月から広島呉道路と広島高速道路を連続利用するETC車を対象に料金割引制度が導入され，国道31号や仁保IC周辺の渋滞緩和等も図られています。

地域の安全・安心の確保と更なる発展のためには，広島呉道路の早期の4車線化と利用しやすく沿線の交通環境にも配慮した料金体系であることが必要だと考えています。

### 取組状況等

#### 広島呉道路建設促進期成同盟会（顧問：広島県知事，会長：呉市長）

令和 2年 8月 県・4市2町（呉市，広島市，坂町，廿日市市，江田島市，熊野町）の首長，議会，商工会議所等により広島呉道路建設促進期成同盟会を設立

令和 7年11月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

令和 7年12月 西日本高速道路株式会社（大阪本社）に要望

#### 事業予定

時期	広島呉道路（坂北IC～呉IC）4車線化事業
令和8年度	工事
令和9年度	工事

#### 事業経緯

昭和45年度～ 事業着手（仁保IC～坂IC）

平成 8年 8月 仁保IC～呉IC間全線開通（坂北IC～呉ICは暫定2車線）

平成31年 3月 4車線化 事業許可（坂北IC～呉IC）

平成31年 4月 重要物流道路に指定

令和 3年 7月 4車線化 着工式開催

令和 4年11月 全工事区間の工事着手

## 提案の内容

### ○ 広島呉道路（クリアライン）4車線化の早期整備

令和3年度から4車線化の工事に着手いただき、市民の期待も高まっていますので、引き続き災害に強い道路ネットワークの形成、地域の更なる発展のため、広島呉道路の4車線化の早期整備をお願いします。

### ○ 呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの機能強化の促進

広島呉道路の4車線化を始め、様々な道路の整備効果の最大化を図るため、呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの更なる機能強化をお願いします。

### ○ 利用しやすく沿線の交通環境にも配慮した料金体系

令和3年3月に導入された広島呉道路と広島高速道路を連続利用するETC車に対する「広島呉道路連続利用割引」により、地域経済の活性化、交流人口の拡大等が図られるものと期待しています。今後も、利用しやすく沿線の交通環境の改善にも寄与する料金体系の導入をお願いします。

## 広島呉道路（クリアライン）4車線化等



区分	事業主体	事業期間	区間・延長
坂北IC~呉IC 4車線化	西日本高速道路株式会社	令和元年度~	坂北IC~呉IC 約12.2km
呉市周辺地域の幹線道路ネットワークの機能強化のための調査	国土交通省	令和元年度~	呉IC~阿賀IC 約4km

# 7 東広島・呉自動車道の更なる機能強化・強靱化対策の推進

財務省，国土交通省

## 提案の要旨

東広島・呉自動車道のピンポイント渋滞対策，安全性・信頼性向上の取組，更なる機能強化の推進をお願いします。

## 現状及び課題

一般国道375号は，呉市から三次市を經由し島根県大田市を結ぶ主要な幹線道路であり，中国地方を横断し山陰と山陽の連係を強化する等，重要な役割を担っています。

なかでも，呉市から東広島市にかけての沿線地域は，昭和59年に広島中央テクノポリス地域に指定されて以来，地域産業の技術高度化と先端技術開発の拠点として，目まぐるしい発展を遂げてきました。

一方で，地域の発展とともに一般国道375号の交通渋滞が深刻な課題となり，経済・社会のグローバル化が進む中，競争力を高め新たな経済成長を持続していくために，高速道路ネットワーク機能の充実・強化が求められ，高規格幹線道路『東広島・呉自動車道』が計画されました。

東広島・呉自動車道は，平成3年に広島県により事業着手され，平成5年からは国の直轄事業として強力に推進いただき，平成27年3月に暫定2車線で全線供用されました。全線供用後は，沿線地域の慢性的な渋滞が緩和され，物流の効率化等に伴う企業進出や，移動時間の短縮による交流人口の拡大など，地域経済の発展や広域化を力強く支えています。

さらに，近年では，新工場の整備に係る第1期工事だけで最大約1,300人の雇用創出効果が期待される半導体切断装置や半導体研削装置の製造で世界トップシェアの(株)ディスコが新工場の建設を開始し，また，東広島市に立地する(株)マイクロンメモリジャパンが工場増築を進めるなど，先端・成長産業として大きな成長が見込まれる半導体関連産業の集積に当路線が大きく寄与しています。

平成30年7月豪雨災害では，発災直後の迅速な救命救急活動や緊急物資の輸送を支え，さらに，広島・呉間の広域迂回ルートとしての役割も果たし，災害による社会経済活動への影響を最小限に抑えることにも寄与しました。こうしたことから，当路線は平成31年4月に重要物流道路にも指定されたところであり，暫定2車線供用による事業効果の最大化と安全性・信頼性の向上が求められています。

こうした中，令和4年3月に阿賀IC立体化(呉方面)が完成し，大きな事業効果を発揮する一方，先小倉交差点や小倉新開交差点では，広から呉方面の交通混雑が著しいことから，令和7年11月に呉都市圏サービスレベル向上検討会を設置し，呉都市圏の道路の渋滞など地域の社会課題の解決に検討しているところです。

また，令和4年度には全線の土工区間や中小橋におけるワイヤーロープの設置が完了しましたが，トンネル内での正面衝突事故も発生しており，安全性・信頼性向上の取組として長大橋やトンネル区間における正面衝突事故対策，災害に強い道路ネットワークを構築するための4車線化など，更なる機能強化が必要だと考えています。

## 取組状況等

### 東広島呉自動車道建設促進期成同盟会(会長：呉市長)

構成団体 4市1町(呉市，東広島市，竹原市，江田島市，熊野町)

令和7年7月・11月 中国地方整備局，広島県に要望

令和7年11月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

### 事業経緯

平成3年度 事業着手

平成27年3月 暫定2車線で全線供用(阿賀IC～高屋JCT・IC)

平成29年3月 阿賀IC立体化事業 工事着手

平成31年4月 重要物流道路に指定

令和4年3月 阿賀IC立体化(呉方面) 完成

## 提案の内容

### ○ 阿賀 I C 付近の交差点における交通混雑解消に向けた具体的な対策の検討

東広島・呉自動車道と一般国道 185 号が接続する先小倉交差点は、主要渋滞箇所位置付けられており、平成 30 年には県内で最も交通事故が多発する交差点となっていました。令和 4 年 3 月に阿賀 I C の呉方面の立体化が完成し、東広島・呉自動車道から呉方面へ向かう右折交通の所要時間が最大で約 5 割短縮するなど交通の円滑化や安全性の向上が図られています。

一方で、阿賀 I C 立体化の完成後、先小倉交差点や小倉新開交差点の広から呉方面の旅行速度は、依然として低下しています。

東広島・呉自動車道の全線供用と一般国道 185 号休山新道 4 車線化の効果の最大化を図る観点から、呉から阿賀間の交通流動や交通混雑の要因分析を行うとともに、呉都市圏サービスレベル向上検討会の中で、交通混雑解消に向けた具体的な対策の検討をお願いします。

### ○ 正面衝突事故対策など、更なる安全性・信頼性向上の取組の推進

事故による通行止め等を回避するため、暫定 2 車線区間の飛び出し・正面衝突事故の対策について、長大橋やトンネル区間においても対策の本格実施に向けて引き続き検討いただくなど、安全性・信頼性向上の取組をお願いします。

### ○ 暫定 2 車線区間の更なる機能強化の推進

平成 30 年 7 月豪雨災害では当路線も土石流により被災して通行止めとなるなど、近年、異常気象と自然災害が激化していますので、災害に強い道路ネットワーク構築のために 4 車線化等の更なる機能強化をお願いします。



## 8 主要地方道呉平谷線・都市計画道路焼山押込線の 早期整備

財務省、国土交通省

### 提案の要旨

主要地方道呉平谷線（上二河）・都市計画道路焼山押込線（焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区]・焼山北[本庄2工区]）の早期整備に必要な予算の確保をお願いします。

### 現状及び課題

主要地方道呉平谷線は、呉市中央地区から昭和地区を経て熊野町に至る幹線道路であり、広島市と呉市とを結ぶ一般国道31号の代替ルートとしての機能も有する等、重要な役割を担っています。沿線地域は、呉市のみならず、広島市や東広島市とも近接することからベッドタウンとして急速に発展し、JR呉駅と昭和地区とを結ぶ路線バスが1日150便も運行されているほか、周辺地域には産業団地も点在する等、本路線は地域に欠かすことができない生活・物流基盤となっています。

平成30年7月豪雨災害では、広島市と呉市とを結ぶ道路の中で奇跡的に唯一大きな被災を免れ、救命救急活動や緊急物資の輸送等を担い、円滑な復旧・復興活動に寄与しました。

このように多くの重要な役割を担う路線でありながら、慢性的な交通渋滞が発生し、さらには、大雨に伴う事前通行規制区間があることから、安全で安定した円滑な交通機能の確保が大きな課題となっています。近年、異常気象と自然災害が激化しており、災害に強い道路ネットワーク構築のためにも本路線の早期整備が必要だと考えています。

さらに、街路事業でこれまで整備いただいた箇所の沿線は、商業施設が立地するなど土地利用が着実に進み、新たなまちづくりに大きく寄与していますので、地域の活性化のためには都市計画道路の整備が必要と考えています。

### 取組状況等

#### 主要地方道呉平谷線整備促進期成同盟会設立（会長：呉市長）

構成団体 2市1町（呉市、東広島市、熊野町）

令和7年7月・11月 国土交通省中国地方整備局、広島県に要望

令和7年11月 国会議員、財務省、国土交通省に要望

#### 事業予定

時期	主要地方道呉平谷線 （上二河）	都市計画道路焼山押込線 （焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区]）	都市計画道路焼山押込線 （焼山北[本庄2工区]）
令和8年度	工事	工事	用地買収
令和9年度	工事	工事	用地買収、工事

#### 事業経緯

##### （1）主要地方道呉平谷線（上二河～此原）

平成12年度 事業着手

平成17年度 此原工区 工事着手

令和2年度 上二河工区 工事着手

令和4年度 此原工区 供用開始

##### （2）都市計画道路焼山押込線

平成3年度 事業着手

平成14年4月 焼山此原町～焼山西1丁目 供用開始

平成22年2月 焼山西1丁目～焼山北1丁目 供用開始

平成30年度 焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区] 事業着手

令和4年度 焼山北[本庄2工区] 事業着手

## 提案の内容

### ○ 主要地方道呉平谷線（上二河）の早期整備

令和4年度に此原工区を4車線で供用していただき、交通の円滑化と安全性向上が図られています。上二河工区についても、令和3年3月の着工後、市民の期待も高まっていますので、早期整備に必要な予算の確保をお願いします。

### ○ 都市計画道路焼山押込線（焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区]・焼山北[本庄2工区]）の早期整備

焼山北～焼山泉ヶ丘[本庄工区]については、関連する市道整備も着実に進めますので、工事の推進をお願いします。また、焼山北[本庄2工区]については、今後ボトルネックとなることが懸念されることから、早期整備に必要な予算の確保をお願いします。

#### 主要地方道呉平谷線，都市計画道路焼山押込線



## 9 主要地方道呉環状線（苗代～郷原）バイパスの 早期整備等

内閣府，財務省，経済産業省，国土交通省

### 提案の要旨

主要地方道呉環状線（苗代～郷原）バイパスの早期整備及び短期的な渋滞対策をお願いします。

### 現状及び課題

呉環状線は、天応地区から昭和地区・郷原地区を経て国道375号を介し警固屋地区に至る路線であり、主要な幹線道路であるクレアライン，東広島・呉自動車道，国道31号等を補完し，呉市のライフラインとして物流や通勤通学等，市民生活上重要な役割を担っています。

この路線のうち，苗代町から郷原町までの間は，沿線に生産物流拠点となる四つの工業団地や，周辺には防災拠点の位置付けもある黒瀬川河川防災ステーション（場外離着陸場）が立地していることから，極めて物流・人流の円滑化が求められる区間となっています。

一方で，当該道路の整備については，苗代町から郷原町への歩道や苗代交差点付近の道路整備はされたものの，長谷工業団地付近以西においては平面・縦断線形が不良な箇所が存在しています。このため，朝夕には各交差点付近で渋滞が発生し，特に冬季には道路凍結による渋滞も発生するなど，通勤や物流車両の安全な通行を確保し，当該路線が幹線道路ネットワークの一部を担うには当該区間の道路整備が急務となっています。さらに，呉市総合スポーツセンターから産業団地へと転換した土地に（株）ディスコの新工場の建設が進んでおり，今後，通勤や物流車両の交通量の増加により，朝夕の渋滞の更なる悪化が見込まれます。

当該路線の整備は，通行車両の安全・安心の確保や地区内外との交流促進につながるとともに，整備中の呉平谷線等と一体的な道路ネットワークの強化が図られ，交通利便性を生かした広島県と呉市の産業振興に大きく寄与するものと確信しています。

### 取組状況等

#### 国要望及び県提案

##### ・広島県中央地域振興対策協議会

構成団体 4市2町（呉市，竹原市，東広島市，江田島市，熊野町，大崎上島町）

令和3年 1月 広島県に要望／令和4年 2月 広島県に要望

令和5年10月 広島県に要望／令和6年11月 広島県に要望

令和7年 8月 国会議員に要望／令和7年 9月 広島県に要望

##### ・呉市単独

令和2年～7年（計6回） 国要望 国会議員，財務省，国土交通省に要望

令和2年～7年（計6回） 県提案 広島県に要望

#### 呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換

令和4年 8月 呉市議会議会協議会において，呉市総合スポーツセンターの施設移転・再配置及び産業団地への転換の報告

令和5年 1月 公募型プロポーザルにより，（株）ディスコを売却優先交渉権者として決定

令和5年11月 （株）ディスコと呉市総合スポーツセンターの売買契約を締結

令和7年 4月 呉市総合スポーツセンターの土地・建物を同社に所有権移転

令和8年 2月 （株）ディスコ新工場 第1期工事開始

## 提案の内容

### ○ バイパスの早期整備等

呉環状線沿線の呉市総合スポーツセンターから産業用地へと転換した土地に、半導体切断装置や半導体研削装置の製造で世界トップシェア（世界約70パーセント、国内約90パーセント）を誇る、(株)ディスコが新工場を建設しています。その立地による効果は、年間出荷額約1,500億円、市税収入約6億円、第1期工事だけで雇用創出が最大約1,300人以上と見込んでいます。一方で、新工場供用に伴う通勤や物流車両の交通量増加により、交通渋滞の悪化が懸念され、周辺企業も含めた企業活動に支障を来すとともに周辺住民の生活にも悪影響が出るのが予想されます。呉環状線（苗代～郷原）のバイパス整備により、新工場供用に伴う新たな交通渋滞が発生することなく、通勤や物流車両の安全かつ円滑な通行が確保され、さらには、冬季の道路凍結による渋滞の解消にも寄与するなど、地域経済の発展や地域住民の安心・安全につながる当該バイパスの早期整備をお願いします。

また、国においては、日本成長戦略本部で重点投資対象に「半導体」を位置づけ、大胆な投資促進策とインフラ整備を一体的に講ずることで、地域ごとに産業クラスターを戦略的に形成することとされています。このことを受け、中国地域では東広島・呉エリアにおいて、(株)ディスコなど世界のトップ企業を中心とする「世界水準」の半導体関連産業クラスターの形成を目指しており、この産業クラスターの形成には呉環状線（苗代～郷原）のバイパス整備や、バイパス区間から郷原インターまでの4車線化が必要不可欠であることから早期整備に向け格段の配慮をお願いします。

### ○ 短期的な渋滞対策

郷原インター入口交差点から桑畑工業団地入口交差点においても、交通量の増加による影響を最小限とし、周辺で生活する市民の安全・安心を確保するため、上記のバイパス整備や4車線化に加え、引き続き交差点改良等の短期的な渋滞対策をお願いします。



### 拡大図



# 10 一般国道185号の早期事業化等

財務省，国土交通省

## 提案の要旨

一般国道185号（広～安浦）の事業化に向けた取組を進め、喫緊の課題である広～川尻・安芸灘大橋までの早期事業化と現道の機能強化をお願いします。

## 現状及び課題

一般国道185号は、呉市から東広島市・竹原市を經由して三原市に至る主要な幹線道路であり、瀬戸内海沿岸部の係を強化し、山陽自動車道や一般国道2号の代替路線としての機能も有するなど、重要な役割を担っています。

沿線地域には、ものづくり産業における世界トップレベルの技術やオンリーワン・ナンバーワン企業が集積しており、当路線は欠かすことができない物流基盤として、古くから企業活動を支えてきました。さらに、呉市から三原市までの海岸線は、瀬戸内海国立公園の中でも屈指の絶景で、日本固有の素晴らしい歴史・文化を有することから、当路線は日本風景街道に指定されており、個性豊かな観光拠点を連絡する交流基盤として、広域的な観光周遊も支えてきました。また、令和6年4月に、これまで多くの利用者に親しまれた旧グリーンピアせとうちを(株)シャトレゼホールディングスに売却し、同年9月に「シャトレゼ ガトーキングダムせとうち」として営業を開始しました。今後、見学可能なお菓子工場の建設が予定されるなど、観光などの地域振興拠点として期待されます。

一方で、平成30年7月豪雨災害では、土石流の発生や道路のり面の崩壊等により、多数の箇所が全面通行止めとなり、地域が孤立し円滑な復旧・復興活動に支障を来しました。

こうしたことから、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保すべき路線として、平成31年4月に重要物流道路に指定されたところです。

このように重要な路線であることから、交通容量が不足して慢性的な渋滞が発生している箇所については、早期事業化が必要だと考えており、特に広から川尻までの区間は、主要渋滞箇所の解消や増加するサイクリストへの対応のためにも、喫緊の課題だと認識しています。

また、地域の安全・安心の確保と災害に強い道路ネットワーク構築のためには、無電柱化推進計画に基づく電線共同溝の整備など現道の機能強化が必要だと考えています。

## 取組状況等

### 国道185号整備促進期成同盟会（会長：呉市長）

構成団体 5市1町（呉市，竹原市，三原市，東広島市，江田島市，熊野町）

令和2年7月 東広島市・三原市に参画いただき、国道185号（呉～安浦間）整備促進期成同盟会（呉市，竹原市，江田島市，熊野町）から、新たな期成同盟会として組織を刷新

令和7年7月・11月 中国地方整備局，広島県に要望

令和7年11月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

### 事業予定

時期	呉広本町電線共同溝
令和8年度	工事
令和9年度	工事

### 事業経緯

平成18年 3月 国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会から一般国道185号呉市仁方地区の道路整備の方針に関する提言書提出

平成31年 4月 重要物流道路に指定

令和 5年12月 川尻歩道整備 完成

## 提案の内容

### ○ 一般国道185号（特に広～川尻・安芸灘大橋）の早期事業化

広から安浦までの事業化に向けた取組を進め、特に主要渋滞ポイントの解消と増加するサイクリストに対応するため、広から川尻・安芸灘大橋までの間については、喫緊の課題として早期事業化をお願いします。

### ○ 広本町の電線共同溝の早期整備

道路の安全性や信頼性を向上させるために、電線共同溝の早期整備をお願いします。

## 一般国道185号



# 11 県が管理する国道・県道の早期整備

財務省，国土交通省

## 提案の要旨

放射環状型道路網を構築し，緊急輸送道路等に位置付けられるとともに，企業等の生産活動を支え，安全・安心なまちづくりに寄与する国道・県道の早期整備と適切な維持管理の推進に必要な予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

人流・物流はあらゆる生産活動の根幹であり，様々な交通インフラの中でも，道路が最も身近な施設として，その活動を支えています。

誰もが住み続けたくなる安全・安心で人をひきつけるまちづくりと道路整備は不可分の関係にあり，特に都市間や中心地と郊外を結ぶ放射状道路は，都市の連係強化による様々な効果が期待できることから，最も重要な路線として優先的に整備を進める必要があります。

また，放射状道路を相互に連絡する環状型道路は，交通の分散を図り中心地の交通混雑を解消し，さらに，発災時における代替路線の確保に効果的であることから，災害に強いまちづくりを進める上で，環状型道路の整備は極めて重要であり，呉市においても放射環状型道路網の整備を強力に推進する必要があると考えています。

この道路網は，呉市では国道・県道により構築され，多くの路線が緊急輸送道路に指定されるなど，性質的にも重要な路線として位置付けられています。

放射環状型道路網の整備は，まちづくりの基本であり，地域間の連携を強化し，地域の持続的発展を支えるものであり，さらに，緊急輸送道路の機能強化は災害に強いまちづくりに不可欠であることから，国道や県道の早期整備と橋りょう補修などの老朽化対策は極めて重要と考えています。

また，安芸灘地域においては，安芸灘大橋の通行料金が負担となっていることから，地域の方々から地域の発展のため支援を望む強い要望があります。

さらに，しまなみ海道への架橋構想は，観光や産業の交流等を促進するため，産業界などから強く期待されています。

## 取組状況等

### 広島県中央地域振興対策協議会

構成団体 4市2町（呉市，竹原市，東広島市，江田島市，熊野町，大崎上島町）

令和7年8月 国会議員に要望

### 整備計画箇所

区分	道路区分	路線名	区間	緊急輸送
改築系	県道	(主) 呉平谷線	上二河～此原	○
		(主) 音戸倉橋線	井目木	○
		(主) 呉環状線	阿賀南	○
			警固屋	○
			天応	
		(一) 倉橋大向釣土田港線	本浦	
		(一) 中大迫清田線	先奥	
	(一) 豊島線	内浦		
	街路	(都) 焼山押込線	焼山北～焼山泉ヶ丘	○
			焼山北	○
交通安全事業	(主) 呉平谷線	押込	○	
		(主) 音戸倉橋線	宇和木	○
		(一) 広仁方停車場線	広長浜～広小坪	
防災系	耐震補強	国道487号	早瀬大橋	○
	法面災害防除	国道375号ほか9路線	50箇所	10路線

※ 広島県道路整備計画2021参照

## 提案の内容

### ○ 国道・県道の早期整備

放射環状型道路網を形成し、緊急輸送道路など、性質的にも重要な役割を担うとともに、企業等の生産活動を支え、地域の持続的発展や安全・安心なまちづくりに寄与する国道・県道の早期整備と適切な維持管理の推進をお願いします。

また、郷原地区では多くの企業が操業しており、さらに、日本成長戦略会議において17の戦略分野の一つとして示された半導体関連産業の世界的企業である(株)ディスコの新工場建設により第1期工事だけで最大約1,300人の雇用創出を見込んでいます。これらの企業活動を支えるとともに、大型車など交通量の増加による影響を最小限とし、周辺で生活する市民の安全・安心を確保するため、早期事業化に必要な大規模かつ柔軟な予算の確保をお願いします。

- ・主要地方道呉環状線（苗代～郷原）

### ○ 橋りょう補修などの老朽化対策等の加速

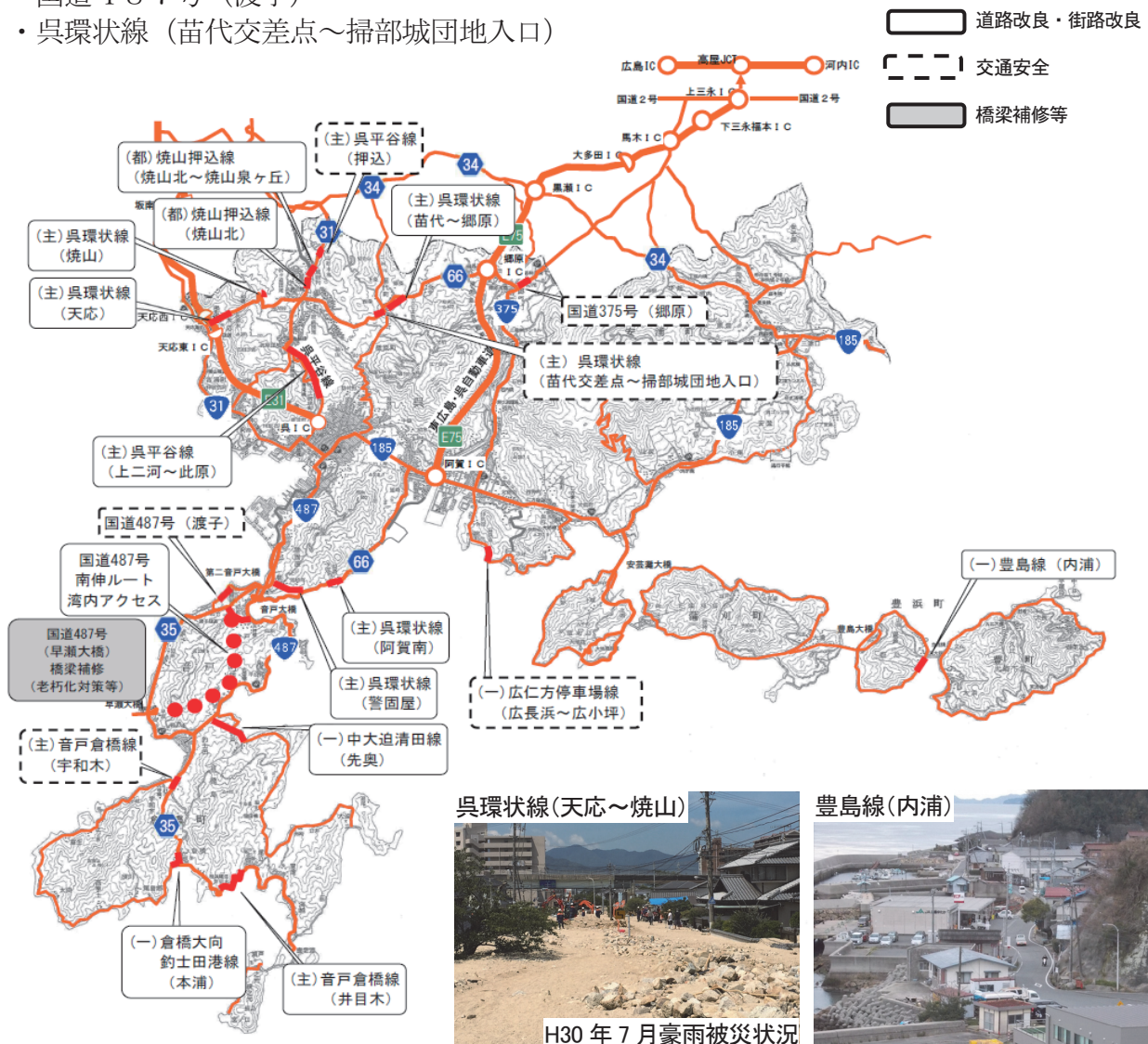
災害に強い道路ネットワークの機能強化のため、早瀬大橋の橋りょう補修（老朽化対策）等及び道路災害防除によるのり面の強靱化対策の推進に必要な予算の確保をお願いします。

### ○ 通学路における交通安全対策の推進

通学路交通安全プログラムに基づき通学路の歩道整備に必要な予算の確保をお願いします。

また、継続事業の早期完成と危険箇所や児童が大きな迂回を余儀なくされている箇所を早期事業化に必要な予算の確保をお願いします。

- ・国道375号（郷原）
- ・国道487号（渡子）
- ・呉環状線（苗代交差点～掃部城団地入口）



## 12 市道整備の推進

財務省、国土交通省

### 提案の要旨

市民の日常生活を支える市道の計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

### 現状及び課題

道路は社会・経済活動を支える根幹であり、都市が持続的に発展していくためには、広域的な移動を支える幹線道路と広域的な道路を補完し、地域内の活動を担う生活道路が、体系的・機能的に連係した道路網として、バランス良く整備されていることが重要です。

このため呉市では、都市間の連携強化に資する幹線道路を国・県に整備いただき、地域内の課題解決に必要な道路整備については、市が推進することで道路網の充実・強化を図っています。

現在、呉市が積極的に推進している事業は、いずれも国土交通省の補助事業や交付金の重点配分の考え方に沿ったものであり、新たに整備される高規格道路 I C へのアクセス道路、通学路への歩道整備など地域が一体となって推進する交通安全事業、橋りょう補修事業、防災・減災・強靱化対策として取り組む道路整備等です。

道路は地域経済を支え、安全で安心なまちづくりに不可欠であることから、道路整備に関する多くの要望がありますが、早期効果の発現を目的にプライオリティに基づいて計画的に整備を推進していく必要があると考えており、呉市の道路事業についても効率的・効果的に整備が進むよう、必要な予算の確保をお願いします。

### 取組状況等

#### 道路整備促進期成同盟会全国協議会広島県地方協議会

構成団体 22市町

令和7年5月 国会議員、財務省、国土交通省に要望

#### 整備箇所（呉市<sup>と き め き</sup>土木未来プラン（後期：令和8年度～令和12年度））

##### 道路局所管

工種	路線名	区間	実施計画
道路改良	川尻本線1号	川尻町西3丁目	R12までに完成
	内海中切線	安浦町内海南1丁目	R12以降も継続
交通安全	本通八幡町線	和庄1丁目	R12までに完成
	本通4丁目5号線	本町	R12までに完成
橋りょう修繕	原横断歩道橋ほか	市内一円	R12までに完成

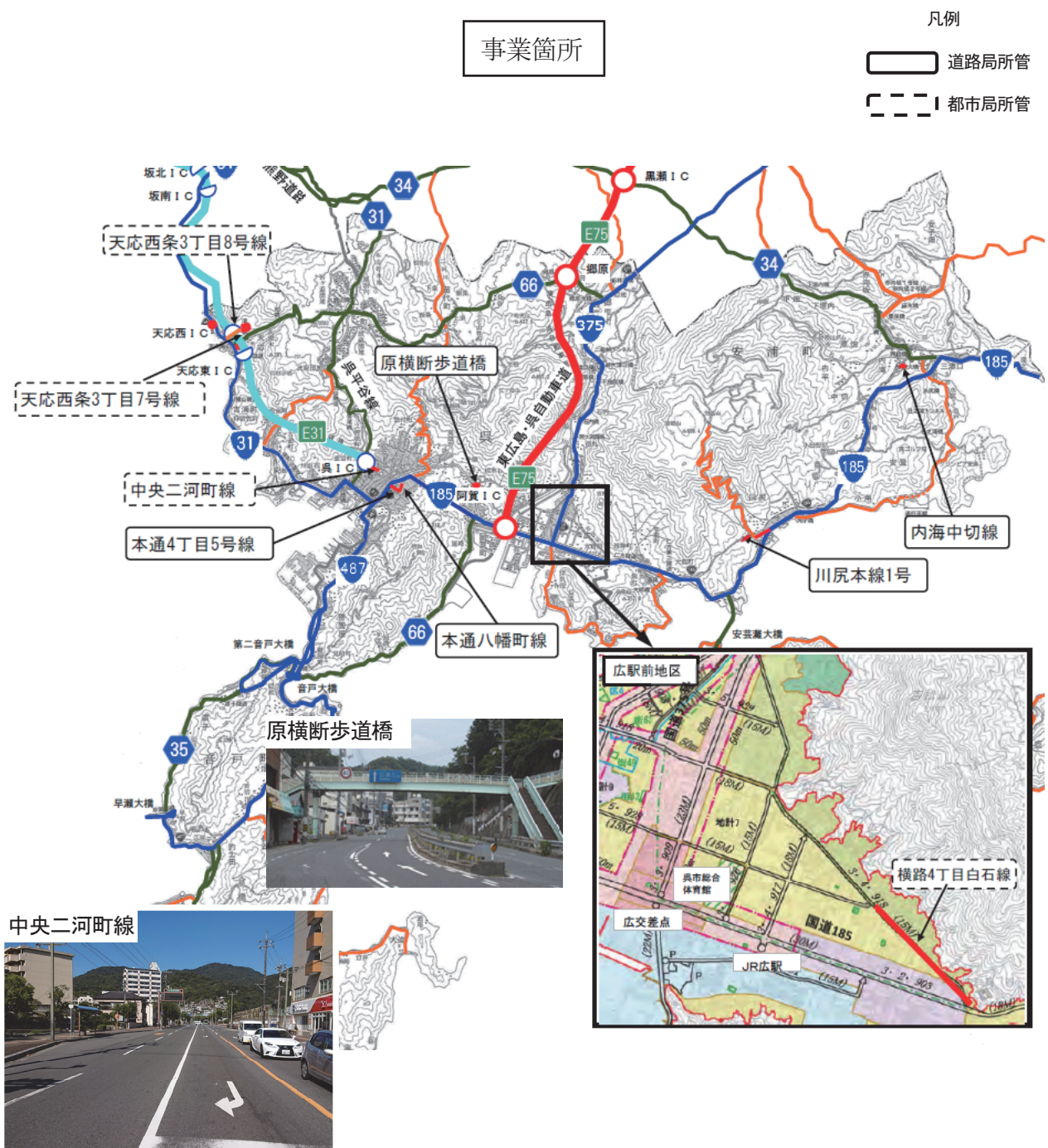
##### 都市局所管

工種	路線名	区間	実施計画
道路改良	天応西条3丁目7号線	天応西条3丁目	R12までに完成
	天応西条3丁目8号線	天応西条3丁目	R12までに完成
交通安全	横路4丁目白石線	広白石3丁目	R12までに完成
	中央二河町線	西中央4丁目	R12までに完成

※「呉市土木未来プラン（後期：令和8年度～令和12年度）」は、市が策定した土木分野の総合計画であり、道路整備プログラムとしての性質も有するもの

## 提案の内容

- **広島呉道路4車線化関連の(都)中央二河町線の計画的な整備に必要な予算の確保**  
 広島呉道路の呉ICへ直結する道路の整備であり、広島呉道路4車線化と一体で推進する事業であることから、計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。
- **広駅前地区における計画的な街路整備に必要な予算の確保**  
 広駅前地区における緊急車両の通行確保や、通学路交通安全プログラムに基づく計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。
- **重要物流道路・緊急輸送道路等における橋りょうの長寿命化に必要な予算の確保**  
 道路ネットワークの機能保全・強化のため、重要物流道路・緊急輸送道路等における橋りょうの性能・機能維持・強化を図るために必要な予算の確保をお願いします。



# 13 砂防・急傾斜地崩壊対策事業の加速と適切な維持管理等による事前防災対策の推進

財務省・国土交通省

## 提案の要旨

生命、財産及び企業活動等を守るために、砂防・急傾斜地崩壊対策事業等のハード対策の加速と防災意識社会構築のためのソフト対策の充実・強化に必要な予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

呉市では、過去から大規模な土砂災害が幾度となく発生し、その都度国や県により緊急的な砂防事業を実施いただくとともに、計画的な土砂災害対策も推進いただいております。

しかしながら、平成30年7月豪雨災害では、市内で30名もの尊い命が奪われたほか、約3,200棟余りの家屋が被害を受けるとともに、道路や鉄道の寸断、広範囲にわたる水道の断水など、市民生活や経済活動の基盤となるあらゆるインフラにも多大な被害が発生しました。

近年、時間雨量50ミリを超える雨が頻発し、平成30年7月豪雨での県内の土砂災害発生件数は、1,242か所<sup>※</sup>と、全国の1年間で発生する土砂災害の数(約1,500か所/年)に迫る規模であり、異常気象と自然災害は激化しており、安全で安心なまちづくりを実現するためには、砂防えん堤や急傾斜地崩壊対策施設の整備は不可欠です。

また、土砂災害警戒区域等の指定については、令和2年度までに全ての対象箇所の指定を完了し、現在は新たな宅地開発等による地形改変箇所の区域設定など、必要に応じて区域指定を更新するとともに、認知度向上にも取り組んでいただいております。

これらの取組は、市民の防災意識の向上に大変役立っており、防災情報を適切な避難行動に結び付けるためにも、ソフト対策の更なる充実・強化が極めて重要です。

このようなことから、流域全体で対策を実施するという流域治水の趣旨に基づき、ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害防止対策を強力に推進いただく必要があると考えています。 ※県内の土砂災害発生件数1,242か所は広島県公表数値(土砂災害警戒区域等及びその周辺で発生した数)

## 取組状況等

### 砂防関係要望活動

令和7年 5月 全国治水砂防協会通常総会  
 令和7年 11月 国会議員、財務省、国土交通省に要望  
 令和7年 11月 全国治水砂防促進大会

### 整備箇所(計画)(呉市)

分類	通常事業 <sup>※1</sup>	H30.7月豪雨災害対応 <sup>※2</sup>	
		国	県
砂防事業	13	9	27
急傾斜地崩壊対策事業	11	—	6

※1 ひろしま砂防アクションプラン2021(県が策定した砂防・急傾斜事業にかかる5か年実施計画)の事業を計上

※2 「平成30年7月豪雨 砂防治山施設整備計画(緊急事業、激特事業等)」に掲載の事業を計上

### 土砂災害警戒区域等の指定状況(呉市)

分類	指定箇所 <sup>※1</sup>	
		うち特別警戒区域
土石流	1,459	1,326
急傾斜地の崩壊	2,643	2,436

※1 令和8年2月26日時点

## 提案の内容

### ○ 平成30年7月豪雨災害に係る砂防施設の早期完成及び土砂・洪水氾濫対策の実施

国による再度災害防止に関わる砂防事業（特定緊急砂防事業）の着実な実施により、早期に施設を完成していただくようお願いします。また、土砂・洪水氾濫のリスクの高い地域において引き続き国直轄事業による対策の実施をお願いします。

### ○ 計画的な土砂災害対策の推進

災害に強い安全・安心なまちづくりの実現に向けて、砂防アクションプランに基づき、砂防・急傾斜地崩壊対策事業の計画的な推進をお願いします。

#### ・砂防事業

中須賀川，中小坪川，小原川，神開川，光明寺川，塩谷川，檜垣川，東須川，東江の川，辰川川，上畑川，小川，上相ヶ谷川

#### ・急傾斜地崩壊対策事業

小用一丁目A，早瀬3丁目A，畑3丁目，吉浦宮花町4，波多見7丁目，小仁方一丁目8，北隠渡1丁目，畝松，向田，西惣付町5，天応東久保2丁目4

### ○ 実効性のある避難を確保するためのソフト対策の充実・強化

災害情報を適切な避難行動につなげるために、土砂災害警戒区域の指定等に関する情報発信，学校での防災教育等，ソフト対策の充実・強化に必要な予算の確保をお願いします。

### ○ 安全・安心を確保するための既存施設の適切な維持管理

施設が本来有する機能を十分に発揮するため，適切な点検・補修等に必要な予算の確保をお願いします。

平成30年7月豪雨により天応地区を襲った土砂・洪水氾濫



大屋大川

3つの砂防えん堤完成 溪流保全工施工中



背戸の川

学校での防災教育（土石流模型を活用した体験）



呉市立天応学園

# 14 流域治水プロジェクトに基づくハード・ソフト 一体となった治水対策の推進

財務省，国土交通省

## 提案の要旨

気候変動による豪雨の頻発化・激甚化を見据え、流域治水プロジェクトに基づく河川改修など効果的な事前防災の加速化や適切な維持管理の推進をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は、平成30年7月豪雨により、多くの河川が氾濫し、道路の冠水や宅地の大規模な浸水によって、甚大な被害が発生しました。

最も浸水被害が大きかった安浦地区においては、二級河川野呂川水系で河道に流れ込んだ土砂や流木によって野呂川がいつ水し、中畑川では破堤や越水が発生した結果、中心市街地では約60ヘクタールの区域が浸水し、数多くの家屋が被害を受けるとともに、大規模店舗などが復旧を断念して閉店するなど、市民生活に大きな影響が発生しています。

また、これまでも度々浸水被害が発生している中央地区においても、二級河川堺川水系（堺川・内神川）の氾濫によって、防災中枢拠点である呉市役所本庁舎周辺の道路が冠水し、避難行動や救命救急活動に支障を来しました。

こうした中、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化を見据え、「流域治水プロジェクト」における対策として、野呂川水系及び堺川水系における河川改修の加速化や、河川が本来有する機能を十分に発揮し浸水被害を最小限に抑えるための計画的な<sup>しゅんせつ</sup>浚渫など適切な維持管理の推進が重要だと考えています。

さらには、住民の主体的な避難行動を促すための、よりきめ細やかな水害情報の提供などソフト対策の充実が重要だと考えています。

また、令和8年4月に特定都市河川流域に指定された黒瀬川流域については、県・市が連携して流域水害対策計画を策定し、計画に基づき取組を進める必要があります。

呉市の浸水戸数 (水害統計調査より)

時 期	床下浸水	床上浸水	主な浸水箇所
平成11年度	640戸	821戸	呉市中心部
平成21年度	1戸	5戸	呉市中心部
平成22年度	283戸	129戸	呉市中心部
平成30年度	785戸	625戸	呉市中心部・安浦町

## 取組状況等

### 河川関係要望活動

- 令和7年11月 国土交通省中国地方整備局，広島県に要望
- 令和7年11月 国会議員，財務省，国土交通省に要望
- 令和7年11月 治水事業促進全国大会

### 黒瀬川流域の特定都市河川流域の指定（県が指定）

- 令和8年 4月 黒瀬川流域を特定都市河川に指定

### 事業予定

時 期	中畑川	内神川
令和8年度	用地買収，工事	工事
令和9年度	用地買収，工事	工事

## 提案の内容

### ○ 流域治水対策の推進

令和3年度に策定された「流域治水プロジェクト」に基づき、県・市などの関係者が連携して取組を進めており、呉市においては普通河川の改修や浚渫、内水対策、利水ダムの事前放流、避難体制の強化などに取り組んでいるところです。令和8年4月に特定都市河川流域に指定された黒瀬川流域については、流域水害対策計画策定に向けて緊密に連携を図るとともに、引き続き、ハード・ソフト一体となった総合的な治水対策の推進をお願いします。

#### ・ 二級河川野呂川水系中畑川の早期改修

令和2年度に広島県において策定された河川整備計画に基づく河川改修が早期に図られるよう、必要な予算の確保をお願いします。

#### ・ 二級河川堺川水系内神川の早期改修

防災中枢拠点である呉市役所周辺の浸水対策として早期改修に必要な予算の確保をお願いします。

【安浦地区の浸水被害（平成30年7月7日）】



【中央地区（市役所周辺）の浸水被害（平成30年7月7日）】



【中畑川流木捕捉施設（施行状況）】



【内神川の工事状況（分水路整備）】



# 15 社会資本の適切な維持管理の推進

財務省，農林水産省，国土交通省

## 提案の要旨

将来にわたる安全性の確保と財政負担の軽減を両立させるため、予防保全の徹底に必要な予算の確保と人的・技術的支援等の拡充をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は、戦時中に大規模な空襲により焼け野原となり、終戦直後には枕崎台風により壊滅的な被害を受けたことで、都市の復興が大きな課題となっていました。その後、昭和21年に制定された特別都市計画法に基づき復興事業を行うべき戦災都市に指定され、社会インフラの整備が急速に行われたことで、短期間で都市を再生することができました。

このため、呉市の社会インフラは昭和25年から昭和45年にかけて整備されたものが多く、土木施設の老朽化のペースは他都市を大きく上回っています。例えば、今から10年後に建設後50年を経過する橋りょうの割合は、全国平均は約6割ですが、呉市は約8割となっており、老朽化対策は喫緊の課題となっています。

こうした中、道路メンテナンス事業補助制度を活用し、計画的な修繕を実施していますが、早期に措置を講ずべき道路施設があることから、修繕工事の一層の推進が急務となっています。

また、道路舗装については、制度拡充された緊急自然災害防止対策事業債の活用により緊急的な舗装修繕に取り組むことが可能となりましたが、将来にわたり、安全の確保と財政負担の軽減の両立を図るためには、こうした支援制度の継続・拡充が必要です。

社会インフラが求められる機能を十分に発揮するためには、適切な維持管理が不可欠であり、効率的・効果的な維持管理を行うためには予防保全を徹底することが重要だと考えています。

## 取組状況等

### 道路橋梁等の点検結果

※呉市橋梁長寿命化修繕計画（令和7年4月改訂）等各種修繕計画より抜粋

	判定 総数	健全Ⅰ		予防保全段階Ⅱ		早期措置段階Ⅲ		緊急措置段階Ⅳ	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
橋りょう	995	335	34%	517	52%	142	14%	1	0%
横断歩道橋	17	6	35%	6	35%	5	30%	0	0%
トンネル	9	0	0%	7	78%	2	22%	0	0%

### 事業予定

時期	道路橋りょう等の修繕	基幹農道整備事業	公園施設更新
令和8年度	勤住橋ほか12橋	蒲刈大橋	狩留賀海浜公園 ほか16公園
令和9年度	長大橋ほか12橋	蒲刈大橋	押込第1公園 ほか23公園

### 事業経緯

事業	内容
道路事業	令和2年度 道路舗装修繕計画策定 令和7年度 呉市橋梁長寿命化修繕計画(橋りょう・トンネル・横断歩道橋)改定
基幹農道整備事業 (農道保全)	令和4年度～ 安芸灘3期地区(蒲刈大橋・豊浜大橋) 事業着手
公園事業	令和2年度 第3次公園施設長寿命化計画策定

## 提案の内容

### ○ 社会資本の適正な維持管理に係る財源確保と支援の拡充

将来にわたる安全性を確保し、国全体の財政負担を軽減するため予防保全を徹底し、長寿命化修繕計画に基づき計画的修繕が行えるよう点検と対策に必要な予算について、別枠・補助事業による確保をお願いします。

また、効率的・効果的に対策を推進するため、人的・技術的支援の拡充をお願いします。

### ○ 農道渡海橋の補修支援

地域の基幹道路として県営事業で建設していただいた農道渡海橋の診断解析や保全対策・耐震補強には高度な技術力が必要なことから、県営基幹農道整備事業（農道保全）として保全対策・耐震補強を実施していただいています。

今後も住民生活に欠くことのできない農道渡海橋の補修支援に必要な予算の確保をお願いします。

#### 修繕予定の道路橋りょう等



勤住橋 健全度Ⅲ

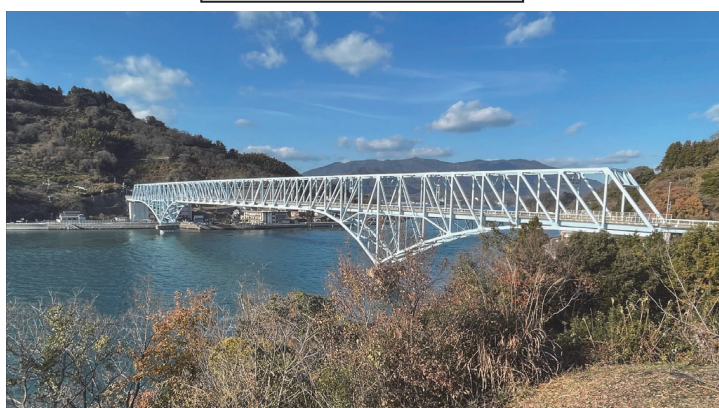
主桁 腐食



原横断歩道橋 健全度Ⅲ

横桁・床版 腐食

#### 農道渡海橋 蒲刈大橋



上部工耐震補強

#### 公園施設更新



老朽化した遊具の更新（令和7年度 吉浦第2公園）

# 16 呉港の事業の推進

財務省，国土交通省

## 提案の要旨

呉港の施設の着実な整備，適切な維持管理に対する支援と予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

呉港は，戦後，昭和26年に重要港湾の指定を受け，翌年に呉市が港湾管理者となり，港の運営体制が確立され，諸施設の復旧整備が進み，貿易港として生まれ変わりました。今日の呉港は鉄鋼・造船・木材・パルプ・機械等の臨海工場群を背景とした工業港として，また，四国や島しょ部を連絡する海上交通の要衝として重要な役割を果たしています。

呉港の港湾施設・設備については昭和40年代～50年代に設置された施設が多く，近年老朽化が進み，施設の安全で機能的な利用に向けて，老朽化対策は重要な課題となっています。

呉市の発展のためには，地域の基幹産業の生産活動を物流面から支える港湾施設・設備や住民の命や財産を守る海岸保全施設について，真に必要な整備・改修の選択と集中，予防保全的な維持管理による長寿命化等，計画的かつ効率的な施設の管理・運営が重要であると考えています。

クルーズ船誘致においては，令和5年4月に初の外国船入港（沖泊）が実現して以降，毎年，島しょ部への寄港を重ね，本年7月にはクルーズ船優先ふ頭として整備した川原石西ふ頭岸壁への初寄港を予定しており，これを機に，クルーズ船の入港が増加するよう，積極的に誘致を進めていきたいと考えています。

また，呉市内外の中小企業を含めた幅広い荷主企業に対し，効率的かつ安定した輸送体系を提供するため，令和5年10月に阿賀マリノポリス地区の港湾計画を変更しており，引き続き内航定期船の航路開設に向けた調整を進め，モーダルシフトの実現を図りたいと考えています。

呉港の脱炭素化については，呉港港湾脱炭素化推進協議会を開催し，本年度の計画策定に向けて手続きを進めています。

## 取組状況等

### 主な事業一覧

#### 【防災・安全交付金（海岸事業）】

地区名	種別	施設名	事業期間	実施内容
宝町	海岸	宝町地区一帯	R5～R10	胸壁・陸閘整備（高潮対策）

#### 【港湾メンテナンス（港湾施設改良費補助）事業】

地区名	種別	施設名	事業期間	実施内容
川原石	港湾	川原石臨港道路	H28～R12	断面修復，鋼管杭改修
宝町	港湾	呉中央第二さん橋	R6～R11	浮棧橋改修

老朽化が進行する港湾施設の長寿命化



川原石地区 川原石臨港道路 平成28年～

高潮による背後地被害の軽減



宝町地区 胸壁・陸閘整備 令和5年～

## 提案の内容

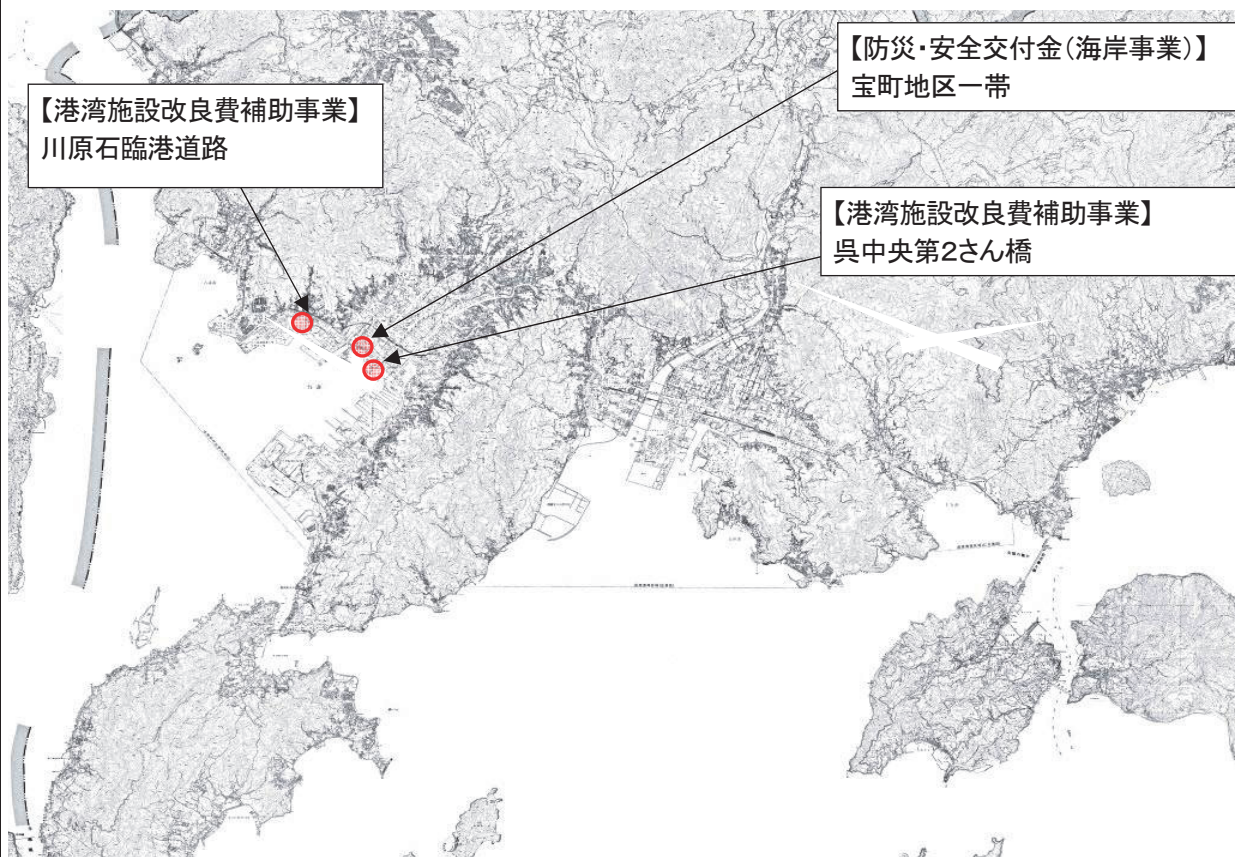
### ○ 呉港の施設の整備，維持管理に対する支援

防災・安全交付金（海岸事業）や港湾メンテナンス（港湾施設改良費補助）事業の予算確保にご配慮いただき，感謝しております。

呉市では，港湾を活用した経済活性化のため，クルーズ船の誘致，船舶へのモーダルシフトの推進による市内企業留置・市外企業誘致につながる内航定期船航路の誘致に力を入れています。

呉港の更なる機能・物流強化を進めるとともに，長寿命化計画等に基づいた老朽化対策，港湾施設・海岸保全施設の整備を行うため，引き続きご支援・ご協力をお願いします。

### 呉市域の港湾事業



敷鉄板損傷状況

# 17 県管理地方港湾の整備促進

財務省，国土交通省

## 提案の要旨

地域住民の利便性及び防災力の向上のため，県管理地方港湾の整備促進に必要な予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は多くの島しょ部を擁し，当該地域における港湾施設は住民生活と産業活動を支える生活基盤であるとともに，市民の人命・財産を高潮，津波等の災害から防護する重要な役割を担っています。

特に，近年，港を取り巻く環境は，地域間の交流や島々を楽しむための観光客の増加など，著しい変化があり，海上交通を活用した港間の交流は地域活性化につながっています。

また，平成30年7月豪雨災害のような大規模災害時において，海上交通は陸路を代替する島しょ部のライフラインとして必要不可欠な交通手段となります。

このため，地域住民の利便性向上による地域活性化，災害時等の際に防災力の向上を図るには，合併建設計画に位置付けられている事業を始めとする地方港湾の早急な整備が重要な課題となっています。

## 取組状況等

### 【事業一覧】

港名	地区名	内 容	事業期間	備考
御手洗	三 角	港整備交付金事業（防波堤改良）	平成24年度～	合併建設計画
釣土田	藤の脇	港整備交付金事業（防波堤改良）	平成27年度～	

### 【要望活動】

広島県地方港湾整備促進期成同盟会（会長：江田島市長）【R8.3.31現在】  
対象港湾：県及び市町が管理する40の港湾  
構成団体：県内9市1町

- 広島県と連携して，県及び市町管理の地方港湾に関する港湾施設整備の促進に積極的に取り組んでいる。
- 地元選出国會議員，国土交通省（中国地方整備局含む。）へ要望活動を実施している。

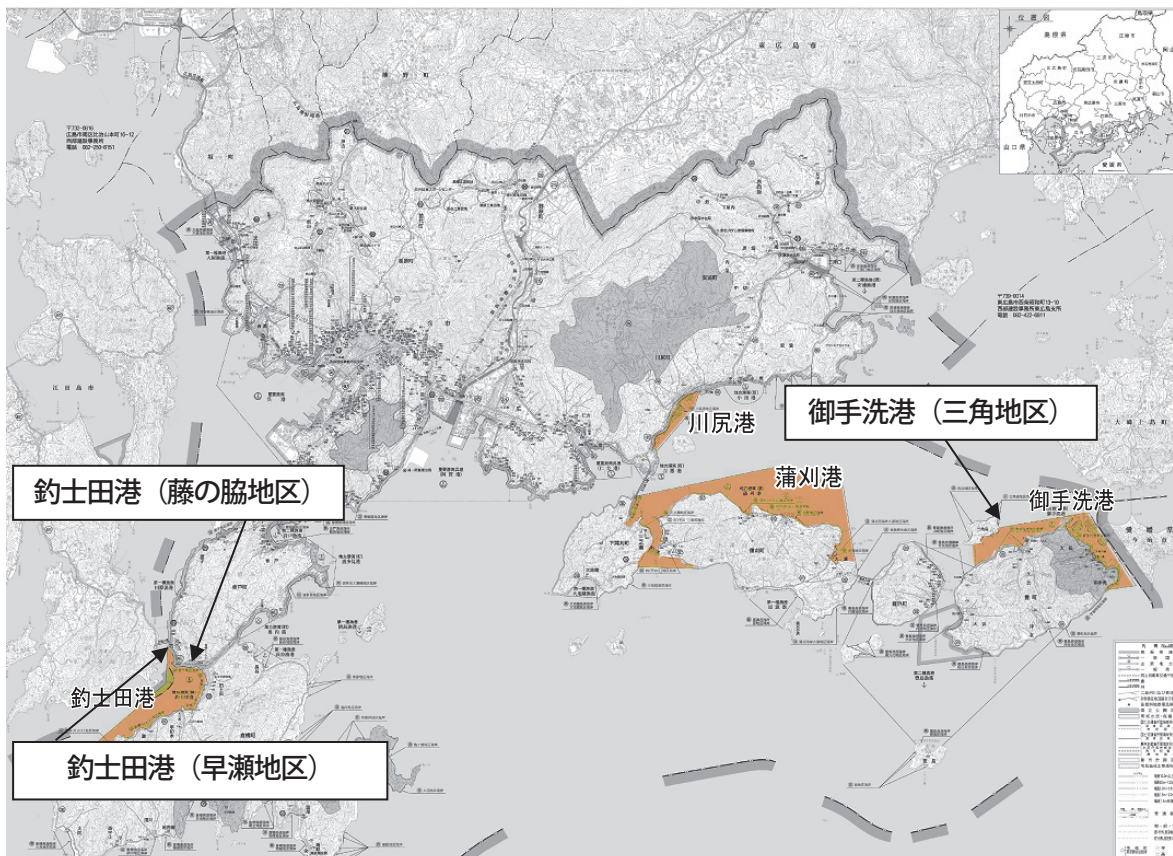
## 提案の内容

### ○ 県管理地方港湾の整備促進に必要な予算の確保

島しょ部地域における港湾施設は、地域の物流、産業、生活等の諸活動を支える社会基盤として重要な役割を担っており、当該地域の持続的発展のため、地方港湾の整備が促進されるよう、必要な予算の確保をお願いします。

[新規] 釣士田港（早瀬地区）防波堤改良

### 呉市域内の広島県管理地方港湾



釣士田港（藤の脇）  
港整備交付金事業（防波堤改良）

御手洗港（三角）  
港整備交付金事業（防波堤改良）



# 18 海岸事業（高潮対策）の早期完成

財務省，農林水産省，国土交通省

## 提案の要旨

巨大地震による津波，気候変動による台風の大規模化を見据え，事前防災対策として海岸事業（高潮対策）の早期完成に必要な予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

呉市は，古くから造船，海運，漁業等の産業や海水浴，クルージングなどのレジャー等，海と向き合い，海の恵みを受けながら発展してきた都市であり，呉市の海岸線の延長は，全国屈指であり，県内市町では最も長い336キロメートルあります。

海は，我々に多くの恵みと安らぎを与えてくれるものですが，突然，地震や台風とともに甚大な災害をもたらすこともあり，特に近年では，巨大地震の切迫と異常気象の激化により，災害リスクが高まっています。

呉市は，多くの海岸線を有する上，地形的制約から海と山に挟まれた狭小な土地に市街地が形成されていることから，高潮災害は脅威であり，平成16年には台風により旧呉市及び旧倉橋町において負傷者17名，家屋全壊11戸，半壊163戸，床上浸水723戸等の甚大な被害が発生しています。

これまでも，建設海岸・港湾海岸・漁港海岸・農地海岸のそれぞれの管理者によって，精力的に高潮対策事業を進めていただきましたが，気候変動に伴う海面水位の上昇により，高潮・高波のリスクが増大しており，港湾・漁港等の既存施設の被害も懸念しています。

令和元年度にも台風15号・19号により，日本各地で甚大な被害が発生しており，高潮災害を未然に防ぐために，これまでどおり海岸管理者の皆様が連携して高潮対策に取り組んでいただくことと，適切な維持管理を推進していただくことが重要だと考えています。

## 取組状況等

### ○広島県地方港湾整備促進期成同盟会（会長：江田島市長）【R8.3.31現在】

構成団体 9市1町（呉市，竹原市，三原市，尾道市，福山市，大竹市，東広島市，廿日市市，江田島市，大崎上島町）

・令和7年10月 国会議員，国土交通省に要望

### ○広島県漁港協会（会長：呉市長）【R8.3.31現在】

構成団体 12市町及び漁業関係者を含む77団体

・令和7年11月 自民党広島県連，広島県に要望

### ○実施箇所

区分	海岸名	地区名※
建設海岸	呉海岸	天応
		警固屋
港湾海岸	蒲刈港海岸	三之瀬
		大浦
	御手洗港海岸	北堀
		南堀
漁港海岸	音戸漁港海岸	鯛浜
		大向
	倉橋漁港海岸	尾立
		家之元
豊島漁港海岸	内浦	
	農地海岸	脇田第2期
倉橋海岸		本倉井

※ ひろしま海岸防災プラン2021を参照

## 提案の内容

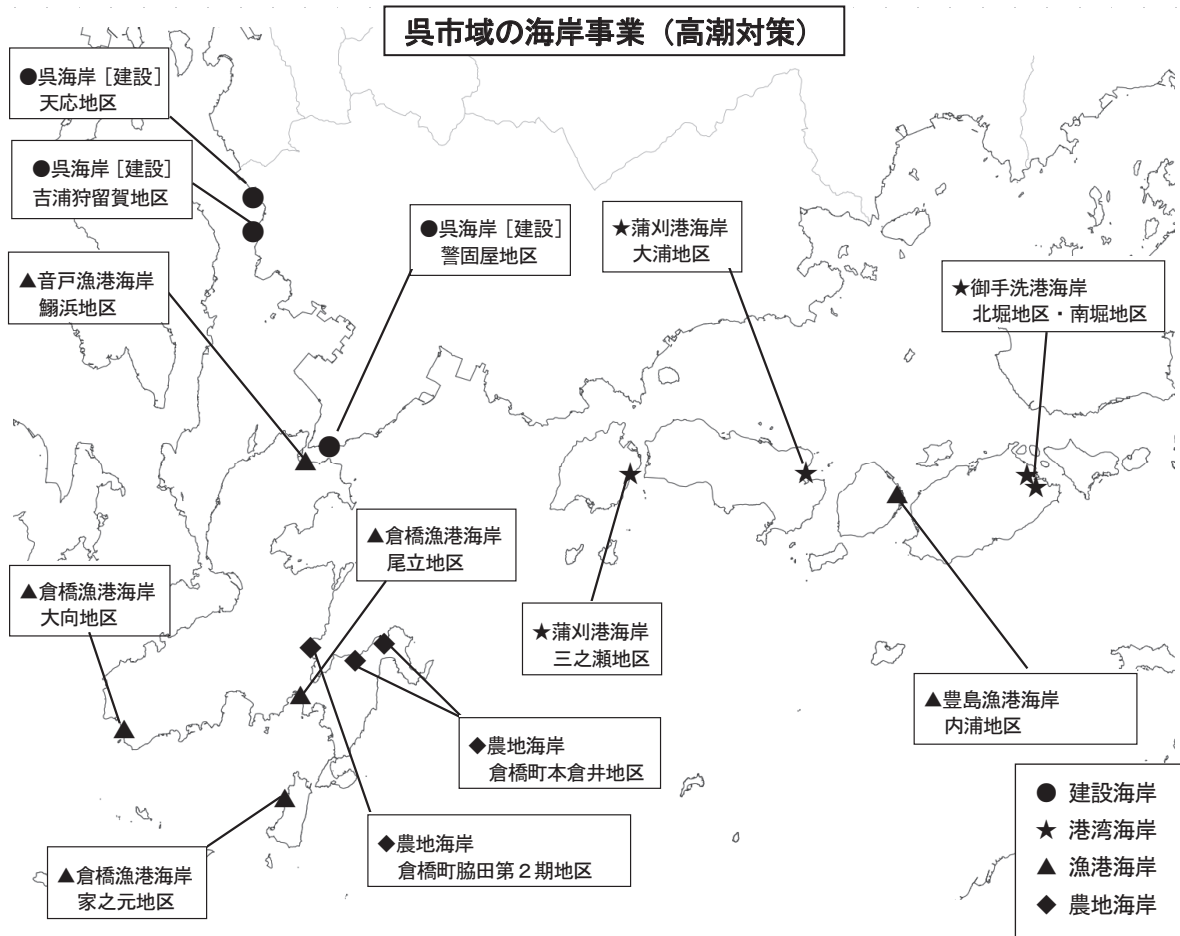
### ○ 高潮対策事業（建設海岸・港湾海岸・漁港海岸・農地海岸）の早期完成

台風、津波等の災害から市民の生命・財産を守るため、「ひろしま海岸防災プラン 2021」に位置付けられた事業の早期完成と、施設が本来有する機能が十分に発揮されるよう適切な維持管理に必要な予算の確保をお願いします。

### ○ 高潮対策が必要な海岸の早期事業化

大規模な災害に備え、防護が必要な海岸の早期事業化に必要な予算の確保をお願いします。

[新規] 建設海岸 呉海岸（吉浦狩留賀地区）



高潮による海岸施設・背後人家の被害の軽減



呉海岸天応地区 平成16年被災状況

高潮による農作物の被害の軽減



農地海岸 倉橋町本倉井地区 平成29年着手

# 19 住宅・建築物の耐震化の推進

財務省，国土交通省

## 提案の要旨

住宅・建築物の耐震化率の向上に向けた支援及び必要な予算の確保をお願いします。

## 現状及び課題

呉市では、呉市耐震改修促進計画に基づき、所有者が耐震性を有しない住宅や建築物の耐震化を行いやすい環境整備や、耐震化に伴う助成制度等の必要な施策を講じています。特に、市民の生活に直結する「木造住宅耐震改修助成事業」，大規模地震時に通行を確保すべき道路（以下「広域緊急輸送道路等」といいます。）に接する建築物に係る「広域緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修促進事業」及び不特定多数の者が利用する大規模な建築物のうち一定規模以上のものに係る「大規模建築物耐震改修促進事業」等により，継続的に支援を行っていくことで，耐震化の向上に努め，災害に強い安全・安心なまちづくり，住まいづくりを推進していく必要があります。

## 取組状況等

### ■木造住宅耐震改修助成事業

平成17年度 呉市木造住宅耐震改修助成事業の創設（市）  
 平成17年度～令和6年度 13件実施  
 令和3年度 広島県木造住宅耐震化促進支援事業の創設（県）  
 令和4年度 呉市木造住宅耐震改修助成事業を拡充（市）  
 助成件数 3件（除却3件）  
 令和5年度 助成件数 5件（除却4件・建替え1件）  
 令和6年度 助成件数 6件（改修2件・除却3件・呉市単独補助1件（再掲））  
 令和7年度 助成件数 3件（改修3件）

### ■広域緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修促進事業

平成25年度 耐震改修促進法の改正  
 （広域緊急輸送道路等沿道建築物の耐震診断義務付け・耐震改修努力義務化）  
 平成27年度 広島県耐震改修促進計画（第2期）策定（県）  
 （広域緊急輸送道路等沿道建築物の診断結果報告期限の指定（県））  
 平成28年度 耐震診断義務付け建築物の特定（県），耐震診断・改修補助制度創設（県）  
 平成30年度 広域緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修補助制度創設（市）  
 助成件数 3件（改修2件・除却1件）  
 令和元年度 助成件数 5件（改修1件・除却3件・建替え1件）  
 令和2年度 助成件数 1件（除却1件）  
 令和3年度 助成件数 2件（除却2件）  
 呉市耐震改修促進計画（第3期）策定（市）  
 令和4年度 助成件数 5件（改修1件・除却3件・建替え1件）  
 令和5年度 助成件数 6件（除却3件・建替え2件・呉市単独補助除却1件）  
 令和6年度 助成件数 2件（除却2件）  
 令和7年度 助成件数 4件（除却4件（内1棟解体工事中））

※上記の他，自主解体 3件（解体時期不明）・その他除却 1件

### ◆広域緊急輸送道路等沿道建築物の耐震改修等実施状況（令和8年3月末現在）

対象 74棟	改修等実施済み 36棟	除却	21棟	実施率 49%
		建替え	4棟	
		改修	4棟	
	診断結果耐震性有	7棟		
改修等未実施 38棟	診断結果耐震性無	37棟	未実施率 51%	
	診断未実施	1棟		

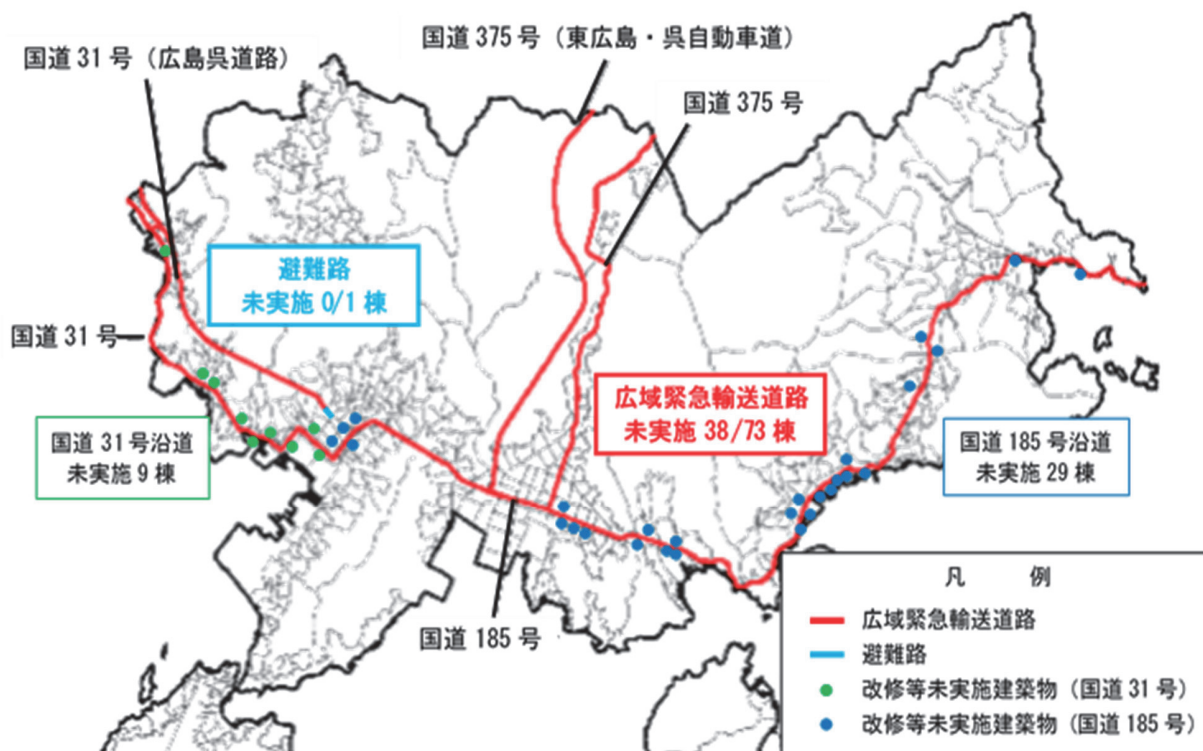
## 提案の内容

### ○ 住宅・建築物の耐震化の実現に向けた支援・予算の確保

広島県及び呉市の耐震改修促進計画に基づき、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進すべく国の補助金を活用し、所有者の意向に即した耐震化の支援を実施しています。

つきましては、木造住宅耐震改修助成事業，広域緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修促進事業及び大規模建築物耐震改修促進事業等に対して，当市が要求する額への確実な予算措置をお願いします。

### 広域緊急輸送道路等沿道における改修等未実施建築物の分布状況（令和8年3月末現在）



### 【対象建築物例】

#### 広域緊急輸送道路等沿道建築物

名称：呉信用金庫本店

用途：事務所

※大規模地震時に倒壊した際、前面道路幅（36m）の半分以上の通行を妨げ、円滑な避難を困難とするおそれのあるもの



## 20 危険な空き家・危険な擁壁等への対応

財務省，国土交通省

### 提案の要旨

市民の安全・安心を確保するため、行政代執行の適切な実施に向けた支援の拡充をお願いします。

### 現状及び課題

呉市では、このまま放置すれば市民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれのある家屋等について、空家等対策の推進に関する特別措置法（以下「空家等特措法」といいます。）に基づく「特定空家等」へ認定し、それぞれの状態に応じ、所有者へ「助言・指導」，「勧告」等の措置を進めています。こうした措置にもかかわらず、改善に取り組まない所有者に対しては、「命令」等の措置を行った上で「行政代執行」を実施しており、令和7年11月には、本市で初となる空家等特措法に基づく行政代執行を実施しました（その後、同年度内に2件の略式代執行を実施）。

また、本市は、戦前からの急速な人口増により、斜面地における石積み擁壁等の敷地へ住宅建設が進められており、これらの石積み擁壁等は、近年の家屋の空き家化などに伴い、加速度的に老朽化が進行しています。これらの擁壁等が崩落し、又は崩落すると見込まれる場合は、所有者に対し、宅地造成及び特定盛土等規制法（以下「盛土規制法」といいます。）に基づく「勧告」及び「改善命令」の措置を行い、改善に取り組まない所有者に対しては、「行政代執行」を実施することも想定されます（令和7年度に1件の「特別緊急代執行」を実施）。

このように、本市としては、「命令」等の措置に応じない所有者に対しては、「行政代執行」等の措置を講じており、その費用については、代執行実施後に求償請求するものの、当面は、市において経費を負担せざるを得ない状況となります。

また、相続放棄等により所有者が不存在の場合等は、市が費用を負担することとなることから、今後、大幅に財政負担が増加することが危惧されます。

### 取組状況等

#### 1 令和7年度に実施した行政代執行

##### 【空家等特措法】

##### (1) 行政代執行

令和7年11月～ 特定空家等解体撤去

##### (2) 略式代執行

令和8年 1月～ 特定空家等解体撤去

令和8年 3月～ 特定空家等一部解体

##### 【盛土規制法】

##### (3) 特別緊急代執行

令和7年12月～令和8年1月 民地崖応急対策工事等

#### 2 行政代執行の今後の予定

##### 【空家等特措法】

令和8年度 2件

##### 【盛土規制法】

令和8年度 1件（特別緊急代執行）

## 提案の内容

### ○ 行政代執行の適切な実施に向けた支援の拡充

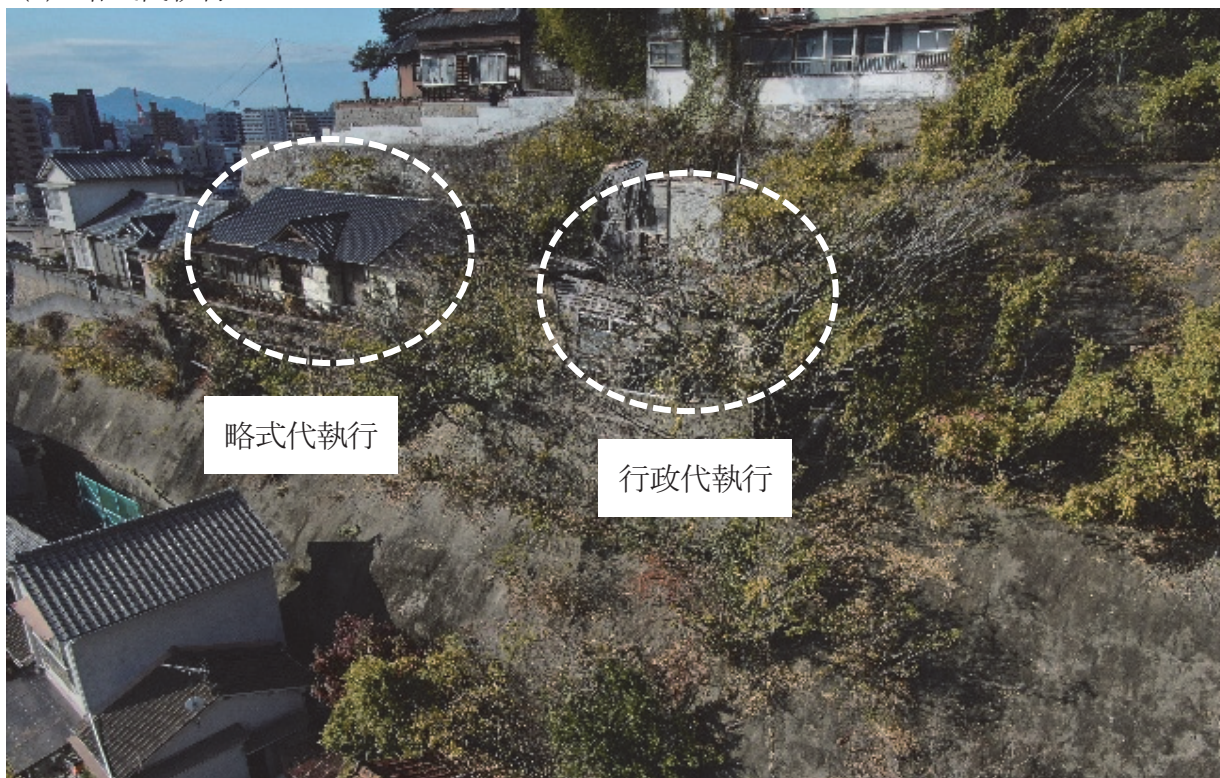
行政代執行の実施に当たっては、所有者の特定ができないことなどから費用の回収が困難なケースが相当数見込まれるため、市の財政負担が生じることが課題となっています。

このため、行政代執行への支援として、特定空家等に対する補助制度と同様に、宅地についても突発的に発生する事案にも対応可能な活用しやすい補助制度を創設するとともに、適切な行政代執行の実施に向けて、必要な予算の確保及び一般的な復旧方法が適用できない宅地に対する技術的な支援をお願いします。

令和7年度実施した行政代執行（呉市内神町）

#### 【空家等特措法】

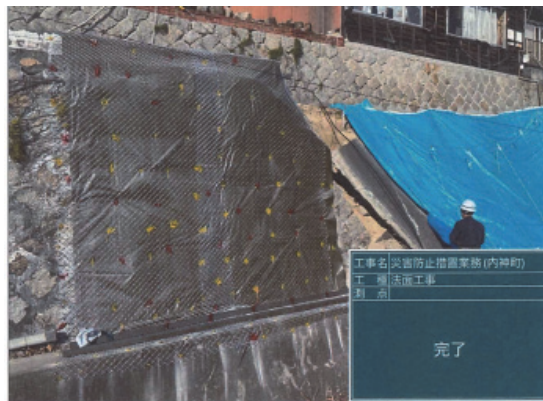
- (1) 行政代執行
- (2) 略式代執行



- ・ 特定空家等の解体撤去を実施

#### 【盛土規制法】

- (3) 特別緊急代執行



- ・ 二次被害を防止するため、民地崖への落石防護網の設置等を実施

# 21 生活交通の維持・確保

財務省、国土交通省

## 提案の要旨

「生活バス（コミュニティバス）」や生活航路などの生活交通の維持・確保をお願いします。

## 現状及び課題

呉市の交通体系は、市域を東西に貫くJR呉線と市域の広範囲をカバーする路線バスを基軸とし、これらを補完する移動手段として、市が運行主体の「生活バス」や、本土と離島とを結ぶ民間航路等で構成されており、いずれの交通機関も市民生活に不可欠な移動手段となっています。

呉市では、民間事業者が運行する路線バスや生活バス等への運行支援、自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の実証事業の実施に加え、民間航路についても、県からの補助金を受けながら、運航経費の一部を市単独又は近隣の市町と共同して助成することにより、生活交通の維持・確保に努めています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少した運賃収入が、早期にコロナ禍以前の水準にまで回復することは想定し難い上に、物価高騰等による費用増により、生活交通の維持・確保に必要な市の財政負担は、高い水準での推移が続いており、一般会計に占める公共交通関連経費の割合が、中核市の中で一番となっています。

こうした厳しい状況の中、国においては、地域交通の「リ・デザイン」の具体化に向け、法改正や予算措置が行われ、また、本市においても、令和2年度に策定した「呉市地域公共交通網形成計画」に続く「呉市地域公共交通計画」を令和7年3月に策定・公表をし、利便性・採算性・持続可能性の高い地域公共交通の実現に向けた取組を進めているところです。

国においては、従来から生活交通路線及び生活航路等の維持・確保に向け、対策を講じていただいているところですが、将来にわたり安定的に生活交通の維持・確保をしていくためにも、より一層の取組が求められています。

## 取組状況等

### ○ 呉市内生活バス路線等名、路線・系統数及び市負担額（総額477,048千円）

路線等名	路線・系統数	市負担額 (R7年度決算見込み)	路線等名	路線・系統数	市負担額 (R7年度決算見込み)
下蒲刈地区	1路線 4系統	12,609千円	呉苗代下条線	1路線 1系統	60,744千円
川尻地区	1路線 2系統	16,762千円	北原神山峠線	1路線 1系統	
倉橋地区	4路線 12系統	24,739千円	見晴町線	1路線 1系統	66,727千円
安浦地区	2路線 11系統	20,499千円	阿賀音戸の瀬戸線	1路線 2系統	
音戸さざなみ線	1路線 3系統	19,718千円	田原藤の脇線	1路線 2系統	45,019千円
白石白岳交差点循環線	1路線 3系統	31,646千円	仁方小須磨線	1路線 1系統	17,109千円
横路交差点循環線	1路線 4系統		広長浜線	1路線 2系統	59,569千円
昭和循環線（北・中央・南）	3路線 8系統	37,744千円	広川尻線	1路線 2系統	38,415千円
			三条二河宝町線	1路線 2系統	25,748千円

### ○ 乗合タクシー路線等名、路線・系統数及び市負担額（総額4,100千円）

路線等名	路線・系統数	市負担額 (R7年度決算見込み)
吉浦地区	1路線 7系統	4,100千円

### ○ 呉市域生活航路及び市負担額（総額74,018千円）

種別	航路名	市負担額 (R7年度決算見込み)	種別	航路名	市負担額 (R7年度決算見込み)
離島航路	齋島～久比航路	40,696千円	生活航路	情島航路	7,850千円
	三角～久比航路			明石～小長航路	25,472千円

### ○ 【参考】呉市内路線バス

路線・系統数：8路線・43系統，市負担額（令和7年度決算見込み）：640,849千円



## 22 JR呉線の機能強化等

国土交通省

### 提案の要旨

JR呉線の機能強化及びバリアフリーに配慮した施設整備等についてJR西日本へ働き掛けをお願いします。

### 現状及び課題

JR呉線は、呉市を含めた芸南地域と県庁所在地の広島市とを結ぶ重要な公共交通機関であり、地域住民の日常生活に欠くことのできない交通手段です。

平成30年7月豪雨により、JR呉線は長期間にわたり運休を余儀なくされ、通勤・通学を始め地域住民の日常生活に多大な影響を及ぼしたことから、頻発する自然災害に耐え得る恒久的な機能強化が必要となっています。

また、特に広駅以東の区間については、利用者の減少が続いており、列車の減便によって、地域住民の利便性が低下しています。こうした中、呉市では、平成13年に沿線4市（呉市、東広島市、竹原市及び三原市）により「瀬戸内さざなみ線利用促進委員会」を設置し、広報活動や各種イベントの開催などにより利用促進の取組を実施していますが、観光客の利用だけでなく、通勤や通学等の日常利用を更に促進させるためには、今後、JR西日本とも連携した取組が必要だと考えています。

さらに、呉線沿線にはバリアフリー未対応の駅が多く、地域住民からは、誰もが安心して利用できる駅施設の整備に対する強い要望があり、呉市では、令和3年度に呉市の負担による安芸川尻駅周辺整備事業に着手したほか、吉浦駅についても、令和4年度に策定した「呉市バリアフリー基本計画」において重点整備地区に位置付けるなど、バリアフリー化に向けての環境整備を行っているところです。

今後の芸南地域の発展と活性化に向けて、JR呉線の機能強化やバリアフリー化の推進、ダイヤ調整などによる利便性の向上等による、誰もが安心・快適に利用できる鉄道環境の整備が求められています。

### 取組状況等

昭和63.	5	JR呉線複線化等期成同盟会設立（4市18町及び商工会議所等） ※平成17.4月以降、6市3町及び商工会議所等
平成6.	9	JR呉線複線化実施調査着手（平成7.3完了）
平成11.	2	呉～広島間輸送改善事業完了
平成13.	10	瀬戸内さざなみ線利用促進委員会設置
平成14.	3	新広駅開業：エレベーター2基設置
平成14.	3	呉駅：エレベーター2基設置
平成15.	3	広駅：エレベーター2基設置
平成16.	6	JR呉線活性化推進協議会設置
平成17.	10	JR呉線観光列車運行開始
平成18.	7	JR呉線活性化検討会・JR呉線利用促進検討会設置 JR呉線活性化検討調査着手（平成21.3完了）
平成18.	7	安芸阿賀駅駅舎改築等完了（エレベーター2基設置）
平成19.	4	安芸阿賀駅周辺整備事業完了
平成25.	8	呉駅：点状ブロック設置
平成29.	3	新広駅改良等工事完了：みどりの窓口設置、自動改札機増設、ホーム拡幅及び上屋設置工事
令和3.	6	安芸川尻駅周辺整備事業着手

## 提案の内容

### ○ 災害に備えるための強靱化対策の推進

J R 呉線全線において、頻発する自然災害に耐え得る恒久的な機能強化について、J R 西日本への働き掛けをお願いします。

### ○ 安全・安心に配慮した駅施設の整備

駅施設の更なるバリアフリー化（特に吉浦駅、安芸川尻駅など）の推進について、J R 西日本への働き掛けをお願いします。



J R 吉浦駅・ホーム



J R 安芸川尻駅・跨線橋



## 23 有機フッ素化合物に関する問題の早期解決

環境省，財務省

### 提案の要旨

有機フッ素化合物の指針値を超えている河川等があるため、住民の安心・安全の観点から一刻も早く不安の解消を図る措置をお願いします。

### 現状及び課題

令和7年8月、呉市内の民間の専用水道設置者が行った自主検査により、有機フッ素化合物であるペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）の合計値が指針値の3倍を超える値を記録しました。

これを受け、令和7年9月には呉市が、令和7年10月には広島県及び呉市が、周辺河川、水路及び地下水について、合計16地点で環境調査を実施したところ、8地点で指針値超過が確認されました。

広島県及び呉市が実施したこれまでの調査状況においては、原因は呉市より上流に位置する他市内の水路周辺にあるものと見込まれています。

現在、河川等におけるPFOS等の効率的な除去や低減方法が確立されておらず、発生源が呉市外にあると思われるため、呉市においては、モニタリング調査による水質の推移の把握しかできません。

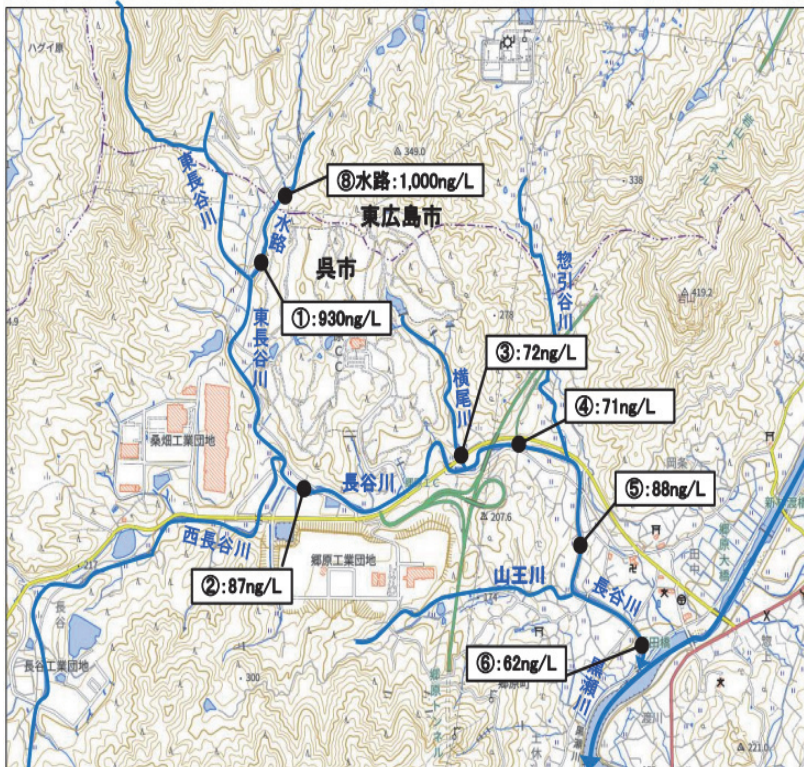
呉市が実施した住民説明会では、健康や農作物に対する不安の声が上がっており、住民の安心・安全の観点から、一刻も早く不安の解消を図る必要があります。

### 取組状況等

- |      |     |    |  |
|------|-----|----|--|
| 令和7. | 8.  | 26 | 民間の専用水道設置者が行った自主検査で、PFOS及びPFOAの合算値が160ng/Lを検出（指針値50ng/L）                                   |
| 令和7. | 9.  | 9  | 専用水道施設周辺の河川等（河川4，水路1，地下水2の合計7地点）の採水調査を実施 ※地下水2地点は民家の井戸                                     |
| 令和7. | 10. | 3  | 9月9日の調査結果で、長谷川2地点，横尾川，水路，地下水各1地点の計5地点で指針値超過（最高値：水路990ng/L）                                 |
| 令和7. | 10. | 10 | 10月3日の内容について住民説明会を実施（原因の究明，農作物への影響等質疑）   |
| 令和7. | 10. | 29 | 汚染の影響範囲を把握するため河川等（河川7，水路2の合計9地点）の採水調査を実施<br>※水路2地点は広島県が東広島市市域で実施                           |
| 令和7. | 11. | 26 | 10月29日の調査結果で、汚染範囲の拡大は認められなかったものの、9月9日の調査結果と同じ長谷川2地点と、県調査の水路1地点の計3地点で指針値超過（最高値：水路1，000ng/L） |
| 令和7. | 12. | 上旬 | 指針値を超過した河川周辺の飲用井戸11地点の水質検査を実施  |

- 令和 8. 1. 1 3 飲用井戸 1 1 地点全てで指針値内であることが判明
- 令和 8. 2. 1 0 指針値を超過した地点の水質の推移を継続的に監視するため、国が定めた手引に基づく第 1 回目のモニタリング調査を実施（河川 5，水路 2，地下水 1 の合計 8 地点）  
※水路 1 地点は広島県が東広島市市域で実施
- 令和 8. 3. 1 0 8 地点全てで指針値超過（最高値：水路 1，0 0 0 ng/L（広島県実施））
- ※令和 8 年度：上記 8 地点におけるモニタリング調査を継続して実施予定（年 4 回）

【河川等モニタリング調査実施地点（令和 8 年 2 月調査）】



○調査結果の経過状況

採水地点	PFOS 及び PFOA (合計値, ng/L)		調査機関
	R8. 2 月	R7. 9~10 月	
① 水路	930	990	呉市
② 長谷川	87	140	
③ 横尾川	72	100	
④ 長谷川	71	120	
⑤ 長谷川	88	95	
⑥ 長谷川	62	84	
⑦ 地下水	83	96	
⑧ 水路	1,000	1,000	広島県・東広島市

電子国土 WEB (国土地理院) を加工して作成

※⑦地下水の調査地点は、個人の御協力による調査のため、公表は差し控えています。

提案の内容

○ 有機フッ素化合物がもたらす諸影響とその対策に関する情報提供及び具体的な対策・支援

他市内に原因があると考えられるので、広島県において、有機フッ素化合物に対して、①人体、農作物・水産物・畜産等への影響（食物や家畜等への蓄積性）、②具体的なばく露防止策（飲用のみならず、日常生活における対策）及び③濃度低減のための対策技術について、早急な知見の集積と、情報（市民への対応方針）提供を行うことができるよう本事案について、広島県が行う原因分析への支援をお願いします。

また、抜本的解決を図るため、排水規制などの法整備をお願いします。

○ 河川等のモニタリング調査実施への支援

指針値を超える値を示した河川や地下水等の値が、少なくとも安定的に指針値を下回る値を示すまで、定期的な水質調査を実施し、水質の推移を監視することが必要なため、広島県がこれに係る財政的な支援をできるように国から広島県への支援をお願いします。

## 24 持続的なかき養殖の実現に向けた取組の推進

農林水産省

### 提案の要旨

かきの大量へい死の原因究明や気候変動に対応した養殖技術の開発、大規模な自然災害からの早期復興が可能となる漁業共済制度の充実など、持続的なかき養殖の実現に向けた取組の推進をお願いします。

### 現状及び課題

呉市のかき養殖は全国でもトップレベルの生産量を誇っており、水産業における基幹的な役割を果たしているほか、流通・加工などの関連産業、特色ある地元産品として観光や飲食業にも大きく貢献し、地域の雇用を支えています。

そのような中、令和7年10月以降に発生したかきの大量へい死（以下「大量へい死」といいます。）の影響により、県内のみならず、瀬戸内海全域でかき養殖業は甚大な被害を受けており、本市においては、ほぼ全ての漁場で7割から9割以上のへい死が確認されています。

大量へい死のメカニズムについては、猛暑による高水温の長期化や少雨による海水の高塩分化などの要因が挙げられていますが、現時点において、明確にその原因が特定できていません。

また、自然災害に備えて、市内ほぼ全てのかき養殖事業者がかき養殖共済制度へ加入していたにも関わらず、十分な補償には至らず、早期の事業再建に繋がらなかった等の課題があります。

大量へい死の被害に対し、本市としては、収入が著しく減少したかき養殖事業者に対する資金繰りの支援を始め、かきの産地再興に向けた取組を進めているところですが、全国有数の産地を維持し、生産者が安心して養殖を続けていくためには、早期の原因究明や気候変動に対応した養殖技術の開発、大規模な自然災害からの早期復興が可能となる漁業共済制度の充実など、様々な取組を一体的に推進することが必要と考えています。

### 取組状況等

#### ○ 産地を支える生産者の経営継続への支援

- ・ 生産者の事業資金枯渇の危機に対して、かき養殖応援給付金の支給
- ・ 国や県の融資制度が始まるまでの「つなぎ資金」に対する利子補給、保証料の助成

#### ○ 生産活動の再開に向けた支援

- ・ かき養殖緊急経営安定資金に対する利子補給と保証料の助成
- ・ 被害に遭った筏の仕立て直しに係る経費に対して県事業と協調して定額補助
- ・ 預託金融制度の拡充による資材費等の資金調達への支援

#### ○ 漁場環境の改善

- ・ かき殻を活用した海底耕うんによる漁場の海底環境の改善
- ・ 下水処理施設の能動的運転管理による海域への栄養塩の供給

#### ○ かき養殖に対する自然災害対策

- ・ かき養殖共済の掛金への助成による加入促進

## 提案の内容

### ○ 早期の原因究明と気候変動に対応した養殖技術の開発

大量へい死の原因究明と気候変動に対応した養殖技術の開発，その技術の導入に係る支援など，安心して養殖を続けられる環境の整備に必要な支援をお願いします。

### ○ 大規模な自然災害からの早期復興が可能となる漁業共済制度の充実

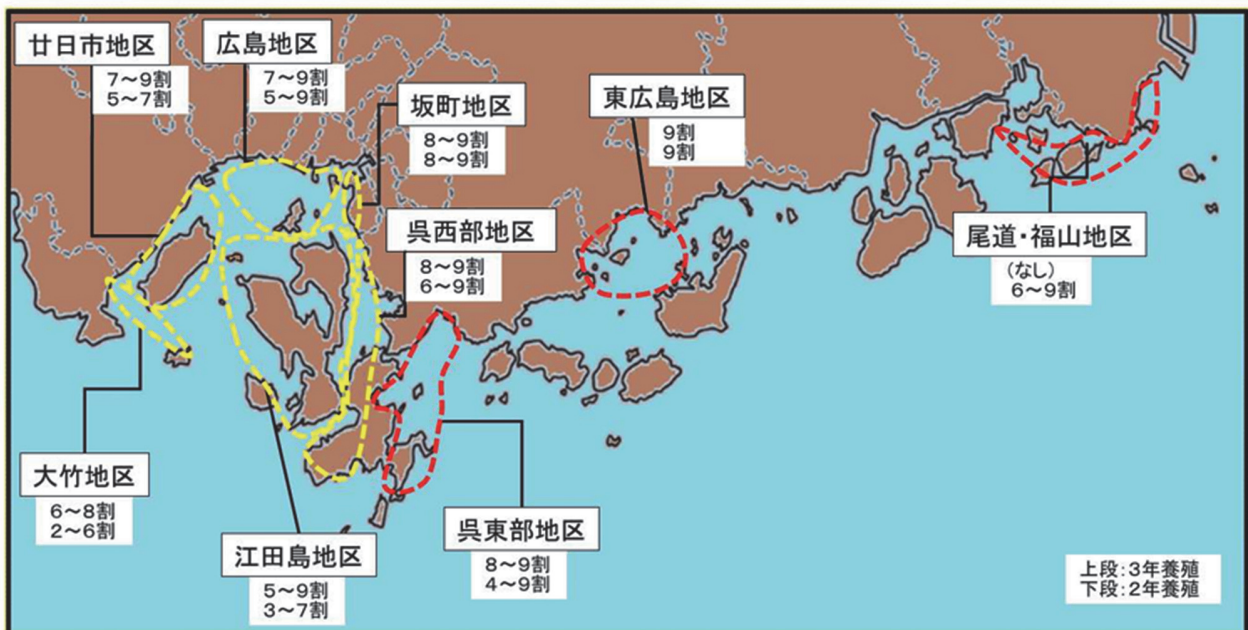
現在，広島県内のかき養殖業者が加入しているかき養殖共済では，十分な補償が受けられず，加えて，全国最大の産地である広島県の生産・流通体制では，特定かき養殖共済への早期の移行は困難な状況となっています。つきましては，数十年見直されていないかき養殖共済における共済価額など，実勢の状況が反映された基準等への見直しや特定養殖共済の加入要件の緩和など，さらなる漁業共済制度の充実をお願いします。

### 大量へい死の被害状況



撮影場所：呉市音戸町地先

### 令和7年度広島県内のかきへい死状況（令和8年2月5日時点）



広島県議会農林水産委員会資料

# 25 学校給食の完全無償化に向けた財源確保について

財務省，文部科学省

## 提案の要旨

政府の方針に基づき実施される「学校給食費の抜本的な負担軽減」において、国が定める「負担軽減基準額」と、「実際の給食費」との間に生じている乖離（基準額超過分）について、義務教育段階における保護者負担の軽減を確実に実施するため、令和9年度以降も継続的かつ安定的な財源措置及び義務教育期間を通じた切れ目のない支援、また、中学校給食についても、早期に公費負担による無償化制度の創設をお願いします。

## 現状及び課題

### 1 国の基準額と実勢価格との乖離

令和7年12月の自民・維新・公明の三党合意に基づき、国は令和8年度より、公立小学校等の児童1人当たり月額5,200円を基準額として負担軽減を行う方針を示しました。この基準額は、令和5年度の全国平均額に一定の物価動向を加味して設定されたものと承知しています。

しかしながら、昨今の急激な物価上昇は、食材費のみならず、光熱水費や物流コスト等、給食提供に関わるあらゆる経費に波及しており、実際の給食費はこの基準額を大きく上回る状況にあります。

呉市においては、安全・安心で栄養バランスの取れた給食を維持するために、令和8年度の小学校給食費の実費は、月額約6,080円が必要と見込んでいます。これは、国の示す基準額（5,200円）に対し、児童1人当たり月額約880円もの「基準額超過分」が発生することを意味します。

これを令和5年度と比較した場合、国の基準額の伸び率が111%（4,700円→5,200円）であるのに対し、呉市における食材費等の高騰による給食費の伸び率は133%（4,578円→6,080円）に達しており、国の想定をはるかに上回るペースで実勢コストが上昇していることは明らかです（表1参照）。

（表1）食材費動向比較

（円）

項目	R5 ①	近年の物価動向 ②	対R5比 ②/①
国の基準額（月額）	4,700	5,200	111%
呉市給食費（月額）	4,578	6,080 (R7年度)	133%

### 2 令和9年度以降の財源確保の不透明さ

令和8年度に関しては、急激な変化に対応するため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、この基準額超過分を市が支援することで、保護者への追加徴収を行わない方針を固めました。

しかし、この交付金はあくまで「臨時」かつ「単年度」の措置であり、令和9年度以降の財源については全く見通しが立っていません。

恒久的な財源措置がないままでは、令和9年度以降、以下のいずれかの対応を迫られることとなります。

① 基準額超過分（月額約880円）を保護者から徴収する。

② 市の一般財源を持ち出して補填する。

①の場合、「給食費無償化」という国の大きな方針に対し、実際には保護者負担が残る形となり、制度への信頼を損なう恐れがあります。また、②の場合、自治体の財政力によって「完全無償」か「一部負担」かが分かれることとなり、居住する自治体によって教育費負担に格差が生じるという、義務教育の機会均等の観点から看過できない問題が生じます。

## 取組状況等

呉市では、子育て世帯の教育費負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整備するため、令和8年度については国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を最大限に活用し、基準額超過分を含めた全額を公費で賄う予算措置（約7,600万円）を講じています。

また、保護者やPTA連合会等の関係団体に対し、今回の国の制度変更（無償化から負担軽減への転換）や、市の財政負担の状況について、広報紙や説明会を通じて丁寧な周知に努めています。

しかしながら、これまで国政レベルで「給食費無償化」という言葉が先行して報道されてきた経緯もあり、多くの保護者は「来年度から給食費は完全に無償になる（一切の負担がない）」と捉えているのが実情です。

このため、仮に将来的に基準額超過分の負担を求めた場合、保護者の理解を得ることは極めて困難であり、行政への不信感を招くことが懸念されます。

## 提案の内容

### ○ 負担軽減基準額の実態に即した見直し

現在の「月額5,200円」という基準額は、全国平均をベースとしていますが、実際には地域ごとの物流事情や少子化によるスケールメリットの減少等により、コスト構造は大きく異なります。

については、物価高騰の実勢価格や地域実情をより正確に反映し、保護者に負担転嫁することなく質の高い給食を提供できるよう、基準額を実際の給食提供コストに見合った額への引き上げをお願いします。

### ○ 「基準額超過分」に対する恒久的な財源措置

基準額を超過する費用について、現在は自治体の自助努力に委ねられていますが、これは持続可能な仕組みではありません。令和9年度以降も、保護者に新たな負担を求めることなく、また自治体の財政力に左右されずに無償化を継続できるよう、基準額を超過する部分についても、国又は県の責任において確実に補填できる恒久的な財源スキーム（新たな交付金制度の創設や地方交付税措置の拡充等）の確立を早急をお願いします。

### ○ 中学校給食における制度の早期創設

現在は小学校給食のみが先行して議論されていますが、義務教育期間を通じた切れ目のない支援が必要です。中学校給食についても、早期に公費負担による無償化制度の創設をお願いします。

# 26 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用

財務省，厚生労働省

## 提案の要旨

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金をより有効に活用できるようにするため，協議から内示までの期間短縮と，複数年での活用が可能となるよう予算措置をお願いします。

## 現状及び課題

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金は，前年度予算を繰り越して活用している補助メニューが多いため，年度内での事業完了が条件となっていますが，厚生労働省からの内示は例年7月から9月となっています。自治体は内示を受けて事業者に交付決定を行うため，確保できる工事期間が約4か月から6か月となります。現在，物価高騰と人手不足の影響により，短期間での改修工事等が難しい状況の中，当該交付金が十分に活用できない状況が生じています。

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金行程表(令和6年度)

年度	前年度									当年度									
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市→事業者 要望調査																			
事業者→市→国 協議 (補助要望調査)																			
国→市 交付内示																			
市→国 交付申請																			
国→市 交付決定																			
市→事業者 交付決定																			
事業者 事業実施																			
備考																			

## 取組状況等

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用した呉市の補助事業について，前年度に事業提案を募り予算を確保することとしています。

### 過去5年間の事業実績

#### 【高齢者施設等の水害対策強化事業】

(千円)

事業年度	地区	施設名	工事内容	工期	補助金交付額
R3	東部	特別養護老人ホーム延寿荘	・急傾斜地コンクリート吹付け ・排水溝の設置	約4か月	3,490

#### 【非常用自家発電設備整備事業】

(千円)

事業年度	地区	施設名	工事内容	工期	補助金交付額
R3	昭和	特別養護老人ホーム柘ノ木荘	自家発電装置設置	約4か月	4,496
R4	中央	呉ベタニアホーム(ケアハウス)	〃	約2か月	14,758
R6	昭和	特別養護老人ホーム後楽荘	〃	約4か月	22,500

#### 【高齢者施設等の安全対策強化事業(ブロック塀等改修整備)】

(千円)

事業年度	地区	施設名	工事内容	工期	補助金交付額
R4	音戸・倉橋	グループホームさゆり	ブロック塀改修	約1か月	594

#### 【高齢者施設等における換気設備の設置に係る経費支援事業】

(千円)

事業年度	地区	施設名	工事内容	工期	補助金交付額
R4	東部	特別養護老人ホーム延寿荘	壁掛け・天井換気扇の設置	約1か月	662

## 提案の内容

### ○ 内示までの期間短縮及び地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の複数年活用

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金について、複数年での活用が可能となるよう予算措置においてご配慮をお願いします。

#### 1 長い工期を必要とするため、交付金の活用が困難な事業

- 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業（大規模修繕）
- 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業（耐震化改修）
- 社会福祉連携推進法人等による高齢者施設等の防災改修等支援事業



防災改修等支援事業  
※屋上の防水機能喪失  
による天井内雨漏り

※工事全体では年度末までに完成できないため、年度末までに完成できる部分（屋根改修）のみを補助対象とし、残り（外壁改修）は全額事業者負担で行わざるを得ない。

#### 2 比較的短時間で施工できることから、交付金の活用が可能な事業

- 既存高齢者施設等のスプリンクラー設備等整備事業
- 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業（水害対策）（※）
- 高齢者施設等の非常用自家発電・給水設備整備事業・水害対策強化事業（※）
- 高齢者施設等の安全対策強化事業（ブロック塀等の改修）・換気設備設置事業



安全対策強化事業  
（ブロック塀の改修）

（※）事業規模によっては、  
施工が長期間になる  
場合がある。

# 27 国土強靱化実施中期計画を踏まえた 国土強靱化に必要な予算・財源の別枠確保について

総務省，財務省，農林水産省，国土交通省

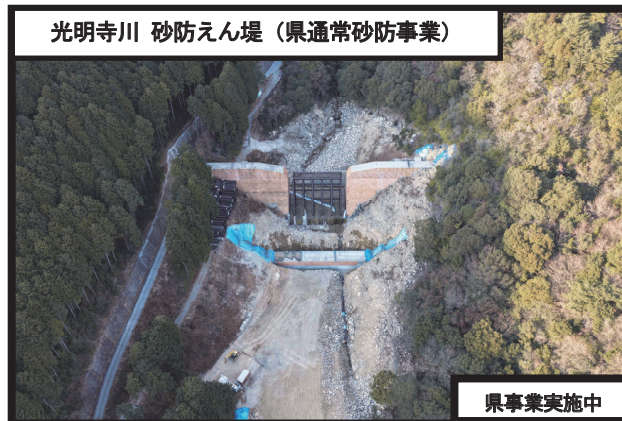
## 提案の要旨

国土強靱化実施中期計画を踏まえた国土強靱化に必要な予算・財源の別枠確保をお願いします。

## 提案の内容

### ○ 国土強靱化実施中期計画を踏まえた国土強靱化に必要な予算・財源の別枠確保

国土強靱化実施中期計画について、能登半島地震や八潮市の事故、豪雪災害等を踏まえた更なる対策を位置付け、予算編成過程で資材価格等の高騰等の影響を適切に反映し、国土強靱化に必要な予算・財源について通常予算とは別枠での満額確保をお願いします。







日本製鉄（株）瀬戸内製鉄所呉地区跡地



広島呉道路（クリアライン）4車線化イメージパース



主要地方道呉平谷線（上二河～此原区間）イメージパース